

2025年12月期 第2四半期（中間期）決算説明資料



株式会社アシックス 2025年8月13日

各種サービス 新規ご登録はこちらから



OneASICS会員



個人投資家向け
メール配信



ASICSアプリ
(iPhone)



ASICSアプリ
(Android)

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

上方修正のポイント

ポイント 1

好調な上期業績及び米国関税影響の不透明感の払拭もあり売上高及び各段階利益について2025年通期の業績予想を上方修正。売上高は8,000億円、営業利益は1,360億円、営業利益率は17.0%、ROAは16.0%となる見通し。

ポイント 2

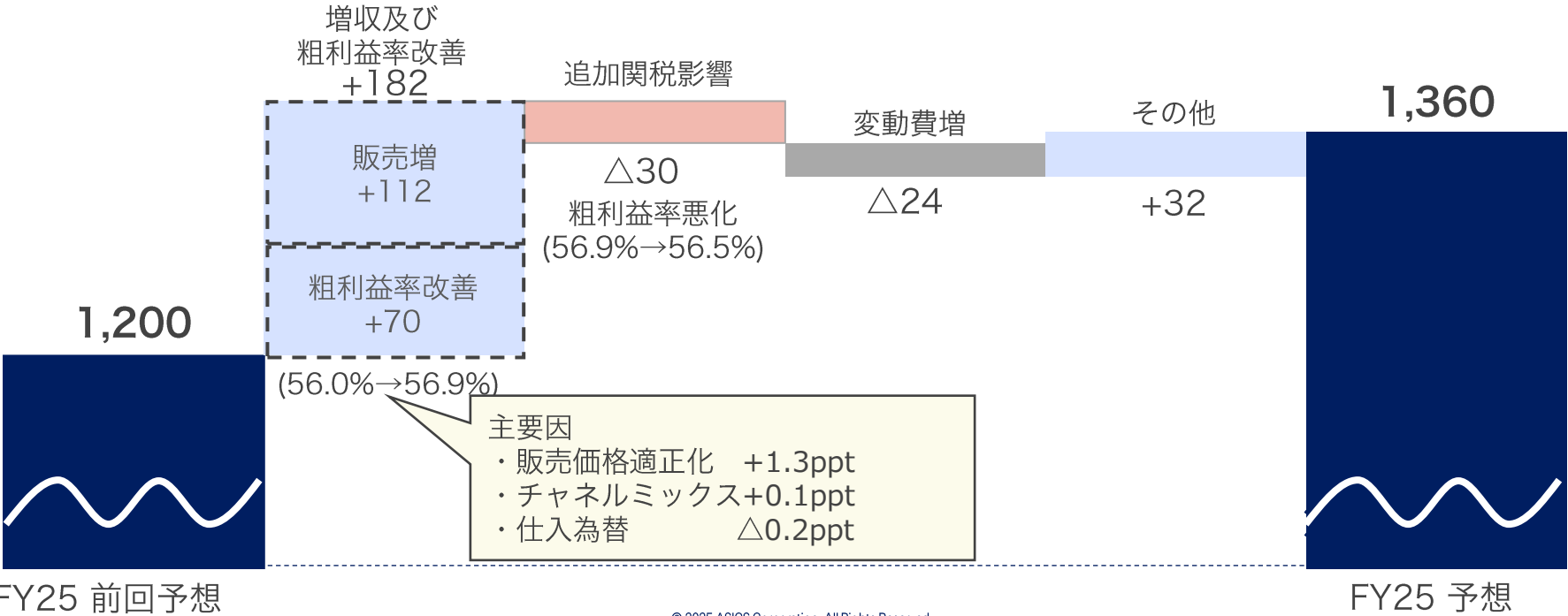
その結果、「中期経営計画2026」（以下「中計2026」）で掲げた2026年の営業利益、営業利益率及びROAの目標を1年前倒しで達成する見込み。

ポイント 3

中計2026を発表以降の株価のパフォーマンスは、業績伸長・株主還元もあり上昇基調。2024年夏以降、株式売出し価格（2,442.5円）を大きく上回る水準で推移。また、中長期的な成長に期待を頂く投資家層の拡大も実現。

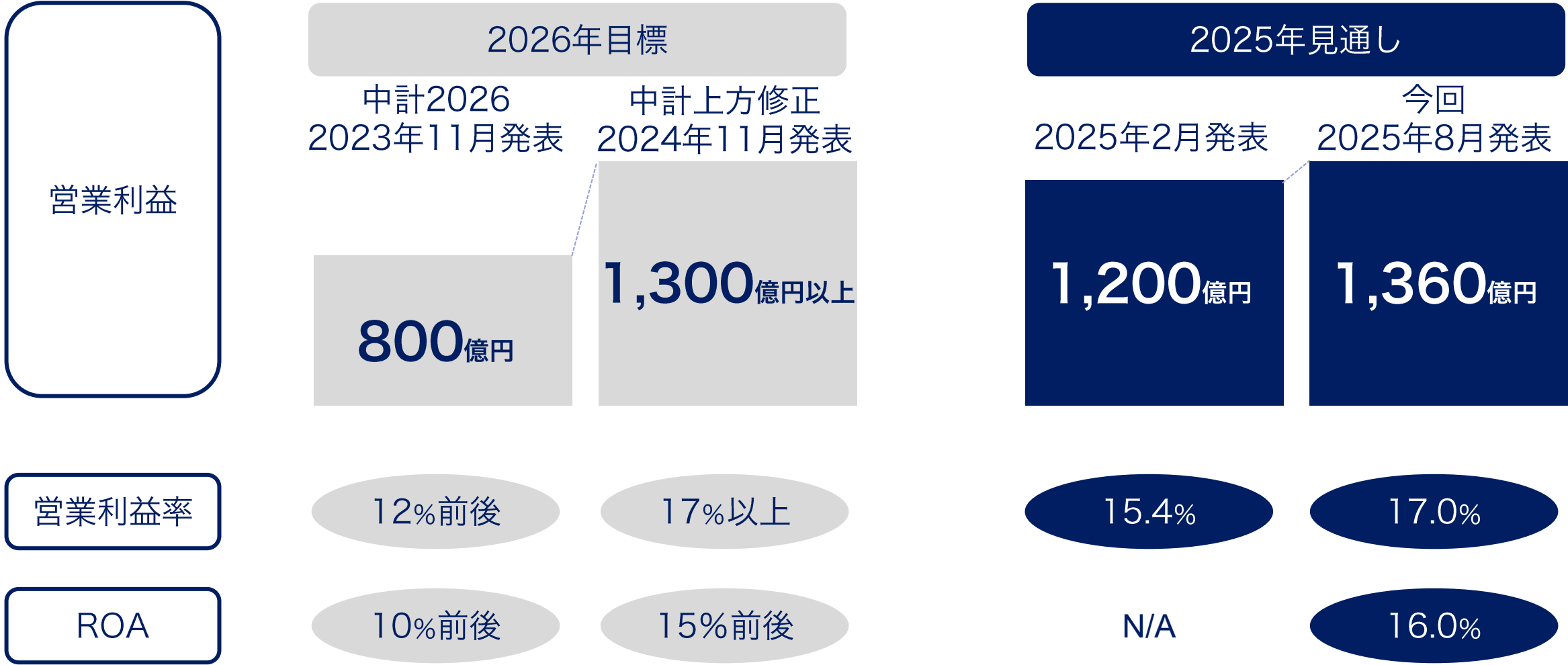
2025年通期業績の上方修正

(単位：億円)	2025年2月発表		今回発表	増減率
売上高	7,800	➡	8,000	+2.6%
営業利益	1,200	➡	1,360	+13.3%
営業利益率	15.4%	➡	17.0%	+1.6ppt



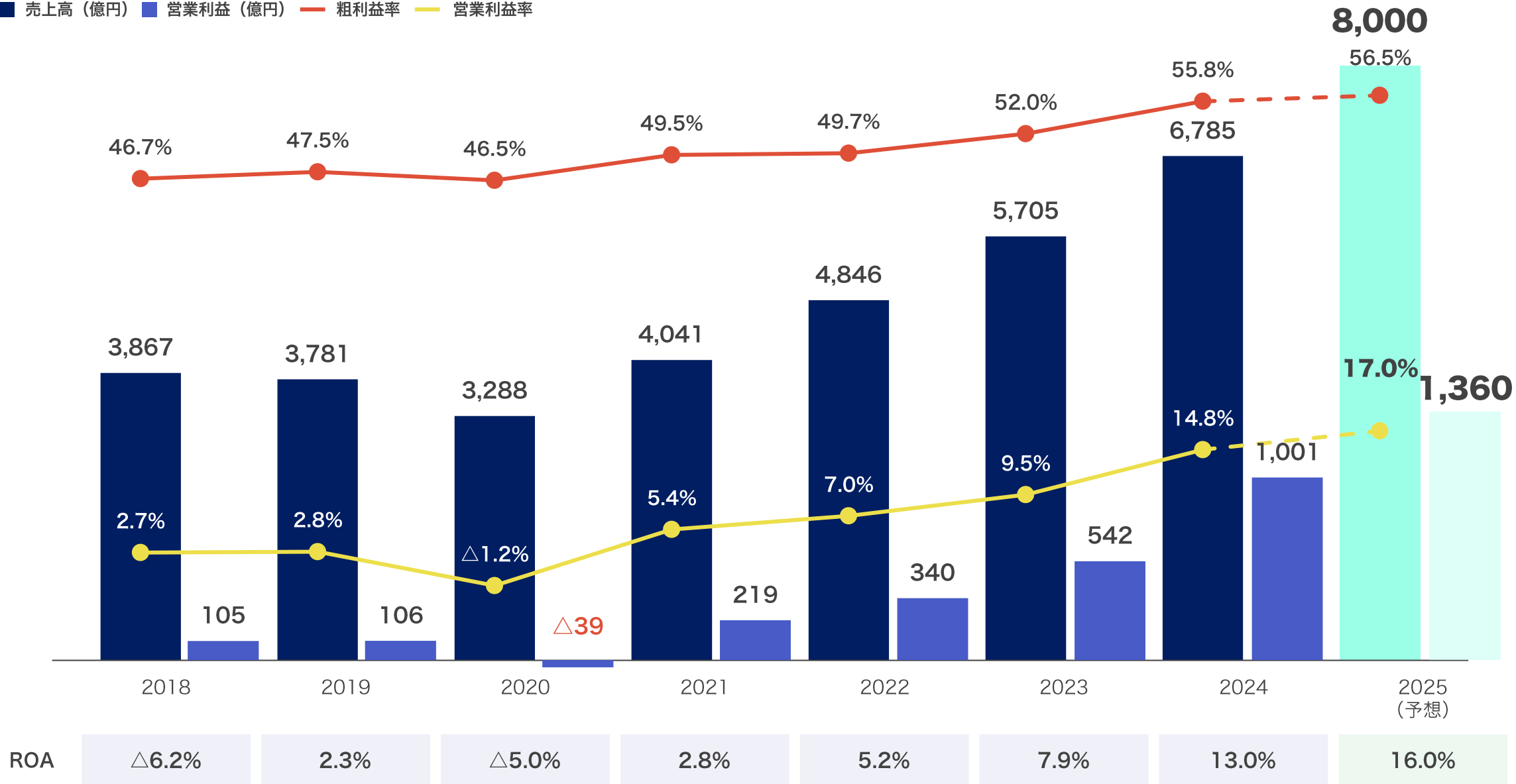
中計2026の前倒し達成

2026年の営業利益、営業利益率及びROAの目標を1年前倒しで達成見込み



2018年からの連結業績推移

■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円) — 粗利益率 — 営業利益率



中計2026発表以降の株価推移

— アシックス — TOPIX ●：発表事項



※2023年11月28日の株価を100として指数化

連結損益計算書

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	3,421	4,027	+606 +17.7%
売上総利益	1,900	2,284	+384 +20.2%
売上総利益率	55.5%	56.7%	+1.2ppt
販管費	1,311	1,473	+162 +12.4%
販管費率	38.3%	36.6%	△1.7ppt
人件費	403	440	+37 +9.1%
広告宣伝費	233	278	+45 +19.3%
広告宣伝費率	6.8%	6.9%	+0.1ppt
賃借料	69	66	△3 △3.6%
減価償却費	97	110	+13 +12.6%
その他経費	509	579	+70 +13.8%
営業利益	589	811	+222 +37.5%
営業利益率	17.2%	20.1%	+2.9ppt
経常利益	578	786	+208 +36.0%
特別損益	2	21	+19
親会社株主に帰属する 中間純利益	422	536	+114 +27.0%

	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,778	3,256	+478	+17.2%
海外比率	81.2%	80.9%	-	△0.3ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+708	+20.7%
	連結営業利益増減	+239	+40.6%
	連結純利益増減	+130	+30.8%

平均為替レート（円）	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績
1ドル	152.14	148.98
1ユーロ	164.69	162.54
1人民元	21.13	20.55

2025年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算サマリー（1）

① **全体：** 全カテゴリーで売上成長、第2四半期で初の4,000億円超え。粗利益率の改善もあり、営業利益、中間純利益ともに過去最高。
なお、第2四半期（3か月期間）では粗利益率は0.9ppt改善し、営業利益率は18.8%に。

- 売上高：4,027億円（前年同期比：+17.7%、為替影響除く：+20.7%）
- 粗利益率：56.7%（前年同期比：+1.2ppt）
- 営業利益：811億円（前年同期比：+37.5%） / 営業利益率：20.1%（前年同期比：+2.9ppt）
- 中間純利益：536億円（前年同期比：+27.0%）

② **カテゴリー業績：** 全カテゴリーで増収。特に、SPSとOTは約50%の大幅増収。

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率 25.2% 前年同期比+1.2ppt
高付加価値商品にフォーカスし増収増益。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅に成長。
（売上高：前年同期比+8.2%、為替影響除く：+11.6%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率 30.7% 前年同期比+2.8ppt
全地域で増収。特に、北米、欧州、中華圏、東南・南アジアでの伸長が全体の売上を牽引。
（売上高：前年同期比+46.4%、為替影響除く：+50.3%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率 39.1% 前年同期比+1.1ppt
全地域で増収。特に、日本、欧州、中華圏で大幅に成長。なお、インバウンド需要の強い日本地域では約2倍の増収。
（売上高：前年同期比+50.1%、為替影響除く：+52.2%）

2025年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算サマリー（2）



地域業績：全地域において増収を達成.

アシックスジャパン、北米、欧州で営業利益、営業利益率ともに大きく伸長

- アシックスジャパン：営業利益率30.0% 前年同期比 +6.9ppt
オニツカタイガーのインバウンド好調継続により粗利益率の良化、販管費率低減もあり営業利益率が更に伸長（売上高：前年同期比+35.4%）
インバウンド売上高は216億円となり、前年同期の100億円から+116億円の大幅増収.
- 北米：営業利益率13.9% 前年同期比+4.0ppt
戦略的な絞り込みがあるも、ランニング専門店における売上成長、スポーツスタイルの増収、リテールの収益性改善などにより、
営業利益率13.9%と力強く伸長.
（売上高：前年同期比+9.1%、為替影響除く：+12.6%）



在庫効率：相互関税対策として米国向け早期出荷を実現、但し、連結及び米国の在庫効率は改善

- 連結のDIO（平均棚卸資産回転期間）は147日と前年同期比11日短縮.



財務戦略：株主還元

- 本年2月14日に発表した総額200億円の自己株式取得が5月27日に完了.
- 中間配当の支払時期を従来よりも約1ヶ月前倒し.
- 当期の好調な業績およびキャッシュ・フローの見通しを踏まえ、期末配当予想を増額. 年間配当予想は28円となり、
前回予想の26円から2円の増配.

2025年12月期 連結業績予想

- 2025年12月期第2四半期は全カテゴリー、全地域で順調に進捗。
- 2025年12月期は、パフォーマンスランニング、スポーツスタイル及びオニツカタイガーの足元の好調な状況を考慮した結果、売上高は前年比+17.9%増収の8,000億円、営業利益は同+35.8%増益の1,360億円を見込む。その結果、中期経営計画を前倒し達成する見込み。
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、中間配当12円、期末配当16円の通期28円を見込む。

(単位：億円)			FY24 実績	FY25 予想	増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売	上	高	6,785	8,000	+17.9%	+19.9%
営	業	利 益	1,001	1,360	+35.8%	+38.4%
営	業	利 益 率	14.8%	17.0%	+2.2ppt	-
経	常	利 益	926	1,310	+41.5%	-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る						
当	期	純 利 益	638	870	+36.4%	-

配当金	中間	期末	通期
2024年12月期	(※) 10.0円	10.0円	20.0円
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2024年12月期	151.36	163.66	21.06
2025年12月期	150.00	160.00	20.00

※ 2024年7月1日を効力発生日として1：4の株式分割を実施(分割前40円)。

株主還元について

- 中計2026の株主還元方針は3年間で総還元性向50%. また、累進配当も実施.
- 2025年は、2月に発表した200億円の自己株式取得に加え、今回は業績の上方修正もあり、年間配当予想の増額を発表.

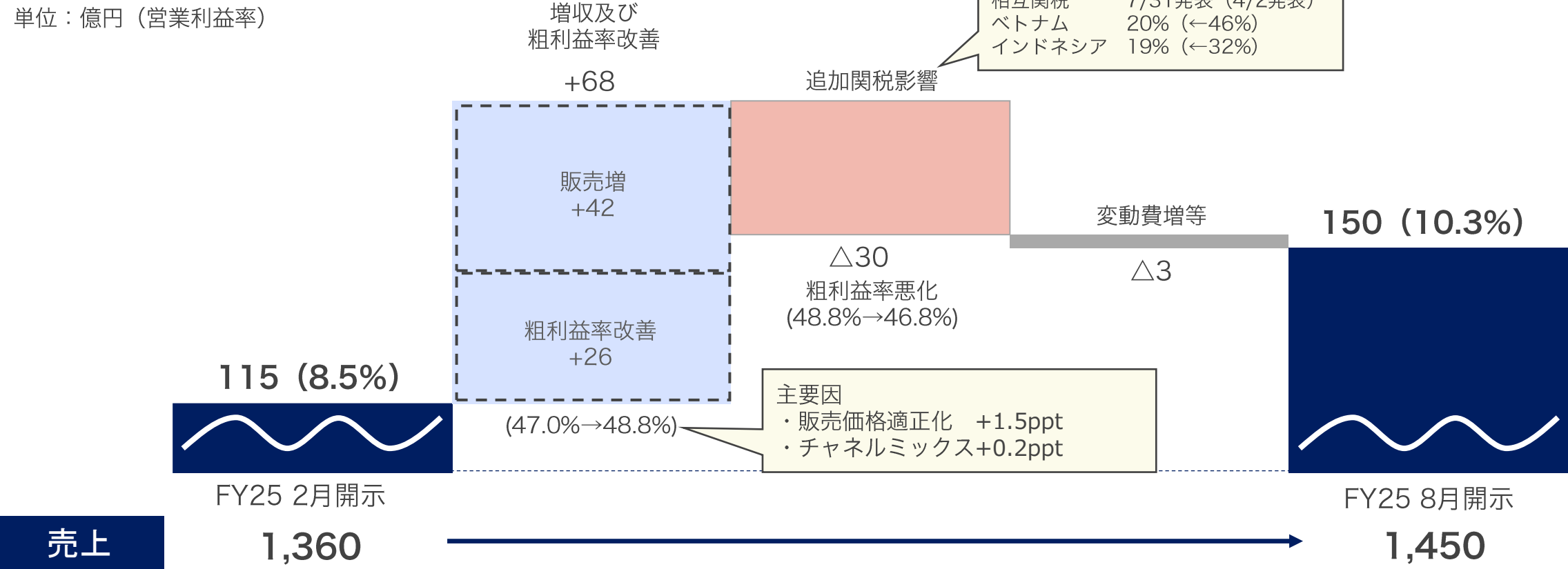
		2024年（実績）	2025年（予測）	2年間合計（予測）
1株当たりの配当額	中間配当	10円	12円	—
	期末配当	10円	16円 (従来予想は14円)	—
	年間配当	20円	28円 (従来予想は26円)	—
配当総額		144億円	198億円	342億円
配当性向		22.6%	22.8%	22.7%
自己株式取得額		263億円*1	200億円	463億円
総還元性向		63.8%	45.8%	53.4%

*1 2024年に実行した自己株式取得（総額350億円）の一部（87億円）は「中期経営計画2023」の株主還元目標達成に充当

米国での事業について

- 2025年上半期の好調な業績も踏まえ、追加関税によるインパクトがあるものの、年間の業績予想（北米）について営業利益を115億円から150億円に引き上げ
- 米国関税政策等による2025年通期業績への影響額は、従前の最大50億円から30億円程度に縮小する見通し
- ランニング専門店シェアは2025年末までのシェアNo.1に向けて引き続き順調に進捗中
- 2026年の販売に向けたホールセラーからの引き合いは堅調。現時点においても引き続きモメンタムは強く、収益性の改善を見込む

北米 営業利益／利益率推移



東京2025世界陸上におけるアシックスの取り組み

- ・ アシックスは、東京2025世界陸上（9月13日～21日開催）のパートナーとして、大会の機運醸成を目指す
- ・ ASICS HOUSEの開設をはじめとするアスリートへのホスピタリティ施策やブランド施策を実施予定

◆Tokyo : Speed : Race / 5月

アスリートとともに新商品 / METASPEED TOKYO Series を試すレースを開催



- ・ 36カ国、125名のトップアスリートが参加
- ・ 10のナショナルレコードと48の自己ベストを達成
- ・ マスレース（ファミリーレース、一般5Kレース、ハーフマラソンリレー）に、約2,700名が参加

メディアイベントにてMETASPEED RAY、METASPEED TOKYO Seriesを発表



◆大会期間中の活動 / 9月

1. 丸の内エリア / ASICS MOVE STREETの開催

- ・ 「Feel like an athlete」をコンセプトに、アスリートを身近に感じられるアクティベーションを実施

2. 国立競技場周辺 / ASICS HOUSEの開催

- ・ アスリートに向けたホスピタリティセンターを設置
- ・ 日本オリンピックミュージアムを貸切り、アシックスの歴史展示などを予定

3. 国立競技場周辺 / FAN ZONEでのブース出展

- ・ METASPEED TOKYO Seriesの展示ブースを設置
- ・ ご来場者様にアシックスの最新テクノロジーに触れていただく機会を創出



東京2025世界陸上において活躍が期待される契約選手

- 約100名のアシックス契約選手が出場予定



ビンセント・キプケモイ (ケニア)
男子マラソン



近藤 亮太 (日本)
男子マラソン



クレイトン・ヤング (アメリカ)
男子マラソン



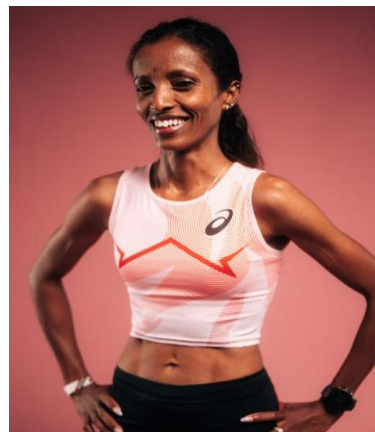
ステラ・チェサング (ウガンダ)
女子マラソン



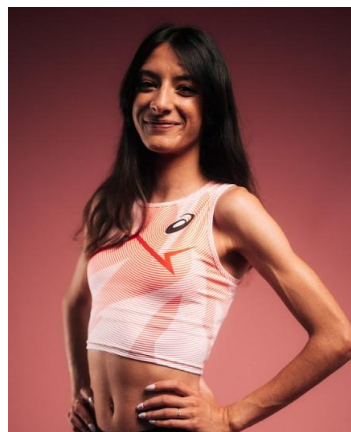
マグダリン・マサイ (ケニア)
女子マラソン



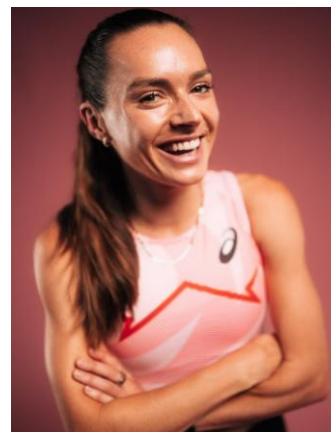
小林 香菜 (日本)
女子マラソン



メクデス・ウォルドゥ (フランス)
女子マラソン



ナディア・バットクレッティ (イタリア)
女子10000m/5000m



イソベル・バット・ドイル (オーストラリア)
10000m



ハゴス・ゲブリウェット (エチオピア)
男子5000m

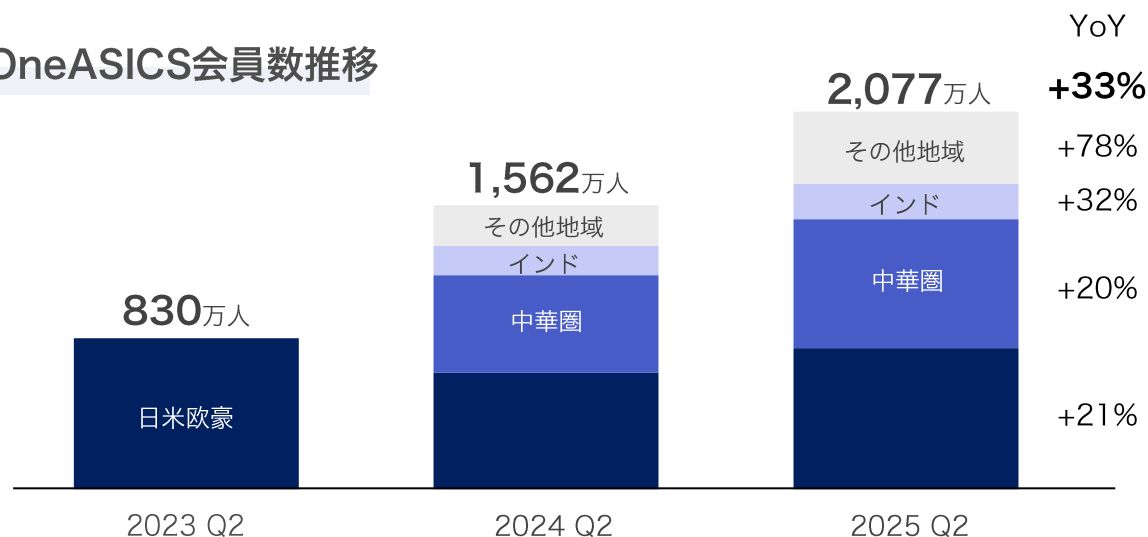
デジタルに関する取組み

- EC売上高およびOneASICS会員数はともに順調に成長。 OneASICS会員数は2,000万人の万台を突破
- OneASICS会員獲得に向け、世界各地で会員を対象とした施策を実施

EC売上高の推移

	2023年Q2	2024年Q2	2025年Q2	24Q2 vs 25Q2
EC売上高	496億円	671億円	758億円	+12.9%

OneASICS会員数推移



2023年Q4以前は、日米欧豪を中心とするプログラムの会員数を集計。
 2024年Q1以降は、OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数も含めて集計。
 加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施。

各地域のOneASICS会員獲得に向けた施策例

日本

- 2024年末にリリースしたASICSアプリにより、商品へのアクセスがより手軽になり、会員登録への導線が強化

中華圏

- Chengdu World Heritage Marathonのプレース期間中、ローカル異業種ストアとのコラボレーションイベントを実施
- ランニングクラブ「RUN+」でのランニングイベントを北京、上海に続き西安でも開始

インド

- 2024年4月にECサイト"asics.co.in"を開設。EC経由での会員獲得を強化
- Mumbai Marathon Expoにて、会員限定商品の販売やトレッドミルで走行を分析する「Run Analyzer™」を提供

オーストラリア

- Sydney Marathonでは、名前等をマーキングできるカスタマイズTシャツや個人のレースハイライトをまとめた「フィニッシャービデオ」、アイスバスやマッサージなどレース後のリカバリーの機会を会員に提供

その他の地域（中東）

- Riyadh Marathonにて、子どもの足の成長を予測する「STEPNOTE™」や「Run Analyzer™」、「フィニッシャービデオ」を会員限定で提供

アシックスブランドの発信

- ・ ブランド・スローガン“Sound Mind, Sound Body”を感じるアクティビティ「DISCOVER. by ASICS」をアシックスグランフロント大阪にて期間限定（6月4日～10月13日）で開催中
- ・ アシックスの調査に基づき、心身にポジティブな影響を与える運動時間「15分9秒」を体験できるよう設計



- ・ スポーツを日常的に行っていない層を「健康意識層」と位置づけ、この層に対してブランドメッセージを伝えるためのアクティベーションを実施
- ・ 運動に馴染みのない人でも自然と動きたくなる仕掛けが詰まった新感覚アクティビティにより「少し身体を動かすだけでも心が前向きになる」ことを体感いただくのが目的



モニターで感情や生活スタイルを分析



光とリズムに導かれて自然と身体が動き出す



360度の映像と音に包まれる
没入型デジタル体験



ブランドの世界観を体感できる
販売スペース



ご予約はこちらから
お申込みいただけます

INDEX

1. 決算サマリー等
- 2. 連結業績の概要**
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

2025年12月期 第2四半期（中間期） 概要

売上高 **4,027億円**（前年同期 3,421億円） 前年同期比 : +606億円 +17.7%
為替影響除く : +708億円 +20.7%

☑ 過去最高. 全カテゴリーで成長を継続. 前年同期比+17.7%.

- パフォーマンスランニングは、高付加価値商品にフォーカスし増収増益. アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅成長.
- スポーツスタイルは、全地域で大幅増収. 特に、北米、欧州、中華圏、東南・南アジアで約1.5倍と著しく伸長.
- オニツカタイガーは、全地域で大幅増収. 特に、インバウンド需要の強い日本では約2倍の増収.

営業利益 **811億円**（前年同期 589億円） 前年同期比 : +222億円 +37.5%
為替影響除く : +239億円 +40.6%

☑ 過去最高. 前年同期比 35%超の大幅増益.

- 粗利益率は56.7%. 高付加価値製品への戦略的なシフトやチャネルミックスの良化などが奏功し、前年同期から+1.2ppt改善.
- 営業利益率は前年同期の17.2%から20.1%へ（+2.9ppt）.

中間純利益 **536億円**（前年同期 422億円） 前年同期比 : +114億円 +27.0%
為替影響除く : +130億円 +30.8%

☑ 過去最高. 前年同期比 27%の増益.

- 上記増収増益に加えて、固定資産売却益もあり増益.

連結損益計算書

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	3,421	4,027	+606 +17.7%
売上総利益	1,900	2,284	+384 +20.2%
売上総利益率	55.5%	56.7%	+1.2ppt
販管費	1,311	1,473	+162 +12.4%
販管費率	38.3%	36.6%	△1.7ppt
人件費	403	440	+37 +9.1%
広告宣伝費	233	278	+45 +19.3%
広告宣伝費率	6.8%	6.9%	+0.1ppt
賃借料	69	66	△3 △3.6%
減価償却費	97	110	+13 +12.6%
その他経費	509	579	+70 +13.8%
営業利益	589	811	+222 +37.5%
営業利益率	17.2%	20.1%	+2.9ppt
経常利益	578	786	+208 +36.0%
特別損益	2	21	+19
親会社株主に帰属する 中間純利益	422	536	+114 +27.0%

	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,778	3,256	+478	+17.2%
海外比率	81.2%	80.9%	-	△0.3ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+708	+20.7%
	連結営業利益増減	+239	+40.6%
	連結純利益増減	+130	+30.8%

平均為替レート（円）	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績
1ドル	152.14	148.98
1ユーロ	164.69	162.54
1人民元	21.13	20.55

連結損益計算書（3ヶ月期間）

（単位：億円）

第2四半期 (4-6月)	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,680	1,944	+264 +15.7%
売上総利益	952	1,121	+169 +17.7%
売上総利益率	56.7%	57.6%	+0.9ppt
販管費	701	755	+54 +7.8%
販管費率	41.7%	38.8%	△2.9ppt
人件費	212	221	+9 +4.1%
広告宣伝費	128	145	+17 +13.4%
広告宣伝費率	7.6%	7.4%	△0.2ppt
賃借料	36	29	△7 △19.7%
減価償却費	49	58	+9 +15.6%
その他経費	276	302	+26 +9.4%
営業利益	251	366	+115 +45.4%
営業利益率	15.0%	18.8%	+3.8ppt
経常利益	248	353	+105 +42.4%
特別損益	2	21	+19
親会社株主に帰属する 四半期純利益	155	220	+65 +41.8%

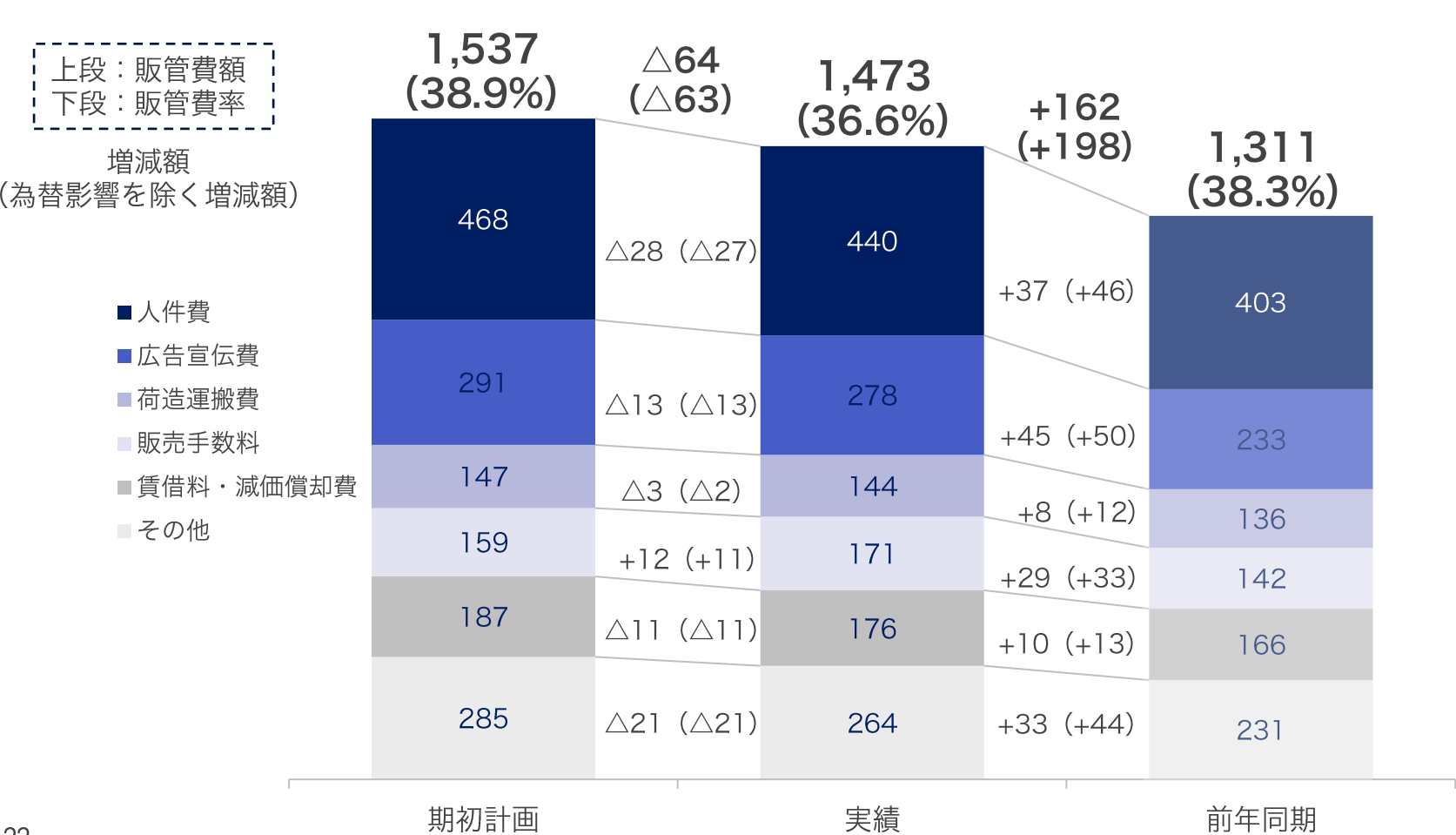
	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,377	1,575	+198	+14.4%
海外比率	81.9%	81.0%	-	△0.9ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+368	+21.9%
	連結営業利益増減	+133	+53.0%
	連結純利益増減	+82	+52.9%

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,083	1,944		
営業利益	445	366		
営業利益率	21.4%	18.8%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	316	220		

販管費の状況

- ・ 期初計画比は、増収に加え、主に人件費、その他が減少したことにより、売上高販管費率は2.3ppt低下.
- ・ 前年同期比は、為替影響（△36億円）を除いて198億円の増加、販管費率は1.7ppt低下の36.6%. 販管費増加の主要因はプロフィットシェア（36億円）などの人的資本投資の強化による人件費、デジタル施策やWS向け施策関連の広告宣伝費、及び売上連動コストの増加.



平均為替レート (円)	FY25 計画	FY25 実績	FY24 実績
1ドル	150.00	148.98	152.14
1ユーロ	160.00	162.54	164.69
1人民元	20.00	20.55	21.13

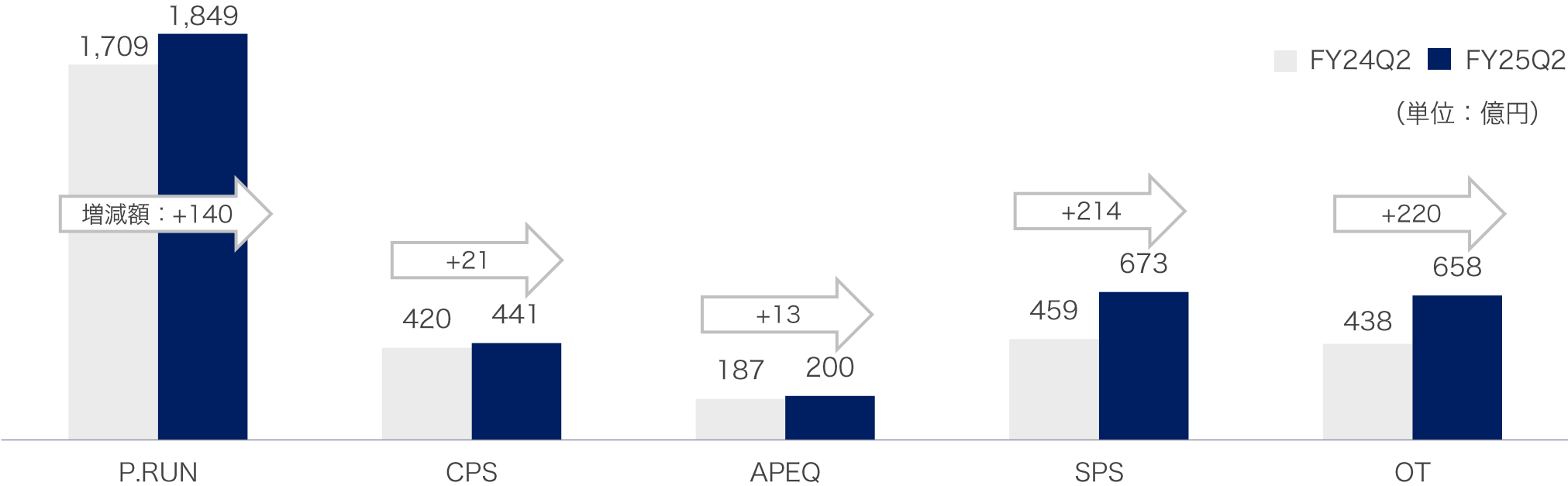
INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
- 3. カテゴリー別連結経営成績**
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは戦略的な絞り込みがあるものの、高付加価値商品にフォーカスし増収。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅増収。
- SPSは全地域で大幅増収。特に、北米、欧州、中華圏、東南・南アジアでの伸長が全体の売上を牽引。
- OTは全地域で大幅増収。特に、インバウンド需要の強い日本に加えて、欧州、中華圏でも大幅増収。



増減率	+8.2%	+4.8%	+6.9%	+46.4%	+50.1%
為替影響を除く	+11.6%	+7.4%	+9.5%	+50.3%	+52.2%

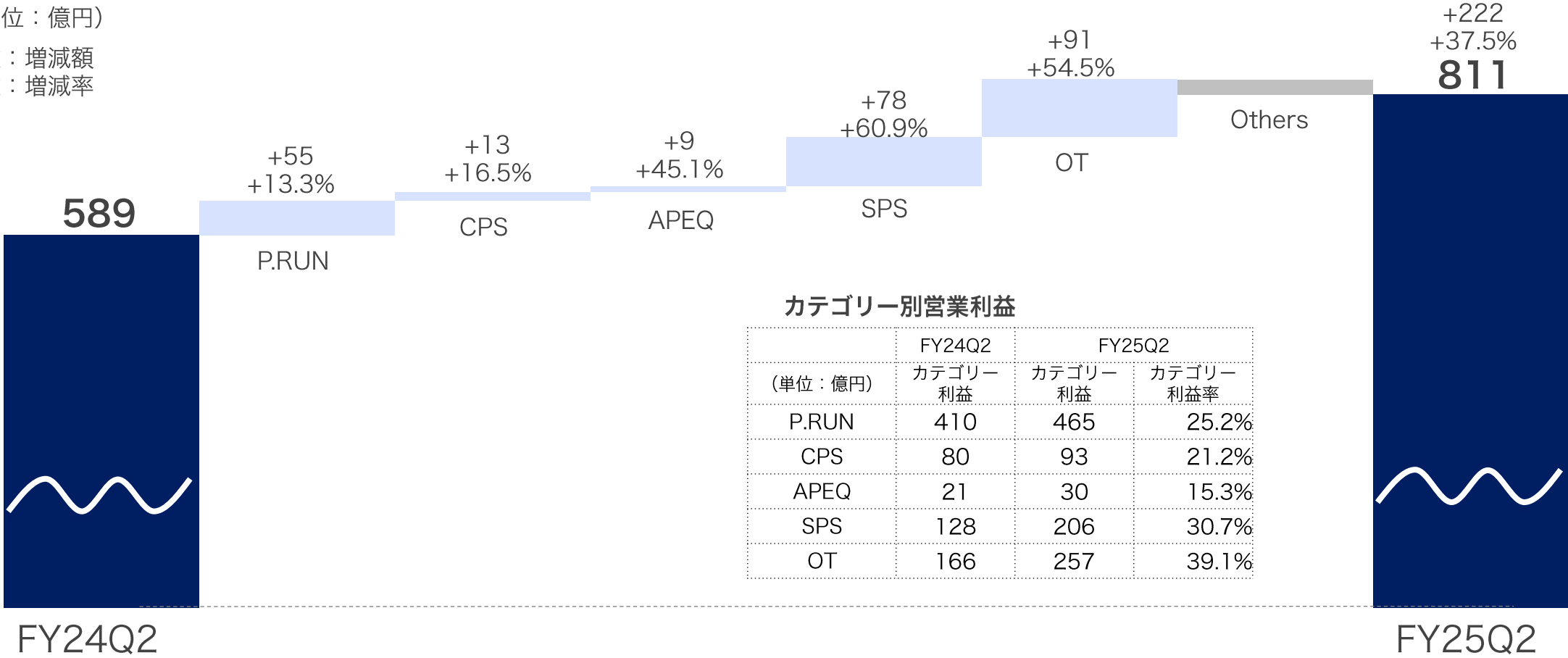
連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 全カテゴリーで増益. 特に、SPS、OTでは50%超の大幅増益.
- カテゴリー利益率は、全カテゴリーで良化. SPSでは30%超、OTでは約40%と高水準を維持.

(単位：億円)

上段：増減額

下段：増減率



カテゴリー利益等一覧

- カテゴリー利益は、主に、P.RUN、SPS、OTの大幅増収により、全カテゴリーで増益。
- 売上高は前年同期比+17.7%と増収も、カテゴリー外コストは、コストオーナー制の下、前年同期比+8.3%と売上増加率の範囲内。

(単位：億円)

	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	1,849 (+140)	441 (+21)	200 (+13)	673 (+214)	658 (+220)	206 (△2)	4,027 (+606)
カテゴリー利益	465 (+55)	93 (+13)	30 (+9)	206 (+78)	257 (+91)		
カテゴリー外コスト							229 (+18)
連結営業利益							811 (+222)

() 内は前年同期比

パフォーマンスランニング (P.RUN)

第2四半期 (1-6月)		FY24Q2	FY25Q2	(単位：億円) 前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		1,709	1,849	+140	+8.2%
	為替影響除く		1,906	+197	+11.6%
カテゴリー利益		410	465	+55	+13.3%
カテゴリー利益率		24.0%	25.2%	-	+1.2ppt
3ヶ月期間 (4-6月)		FY24Q2	FY25Q2	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		830	869	+39	+4.8%
	為替影響除く		927	+97	+11.7%
カテゴリー利益		181	203	+22	+12.2%
カテゴリー利益率		21.8%	23.4%	-	+1.6ppt



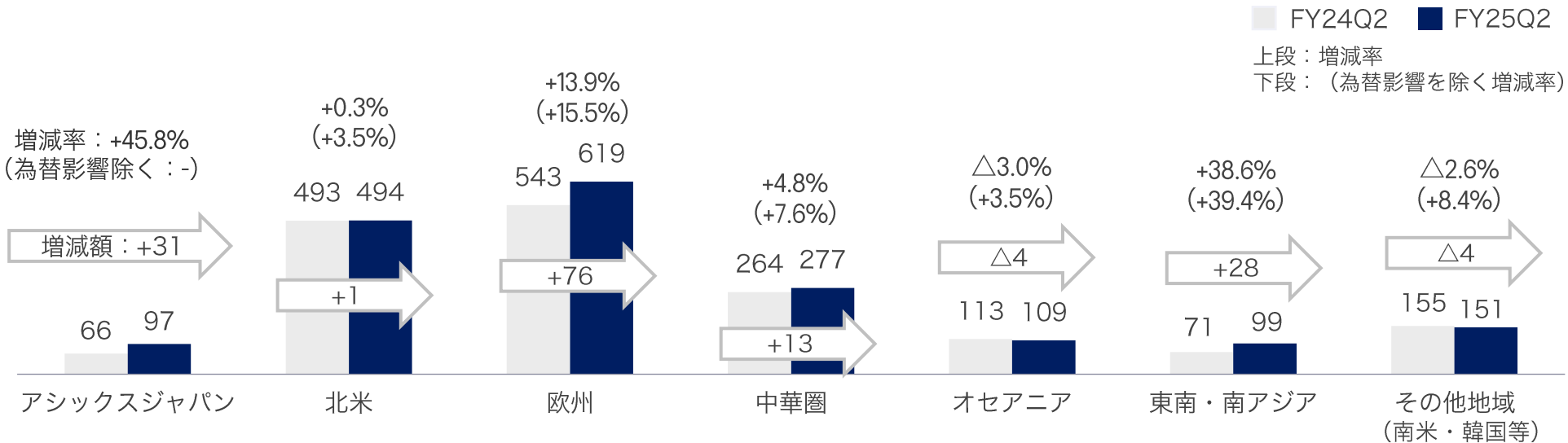
METASPEED RAY

今までで最も軽く、反発性に優れた新ミッドソール素材FF LEAPを採用. 129g*のシリーズ最軽量を実現したレーシングシューズ
※27.0cm/片足重量



ポイント

- 売上高は、世界中で好調なNOVABLAST 5が引き続きP.RUNカテゴリーを牽引し、前年同期比+8.2%の増収（為替影響除きで+11.6%の増収）。
- 粗利益率は、高付加価値商品へのフォーカスにより、53.5%（前年同期比+0.6ppt）と改善。
- 北米でのランニング専門店向け売上は前年同期比+24.5%の増収（為替影響除く）。引き続き強いモメンタムが継続中。
- 新たなモデルであるMETASPEED TOKYO Series、シリーズ最軽量を実現したMETASPEED RAYを発売。ランナーにさらなるスピード体験と選択肢を提供。
- 9月の東京2025世界陸上の盛り上がりを追い風に、新商品を積極的に投入していく。



コアパフォーマンススポーツ (CPS)



DS LIGHT X-FLY 6

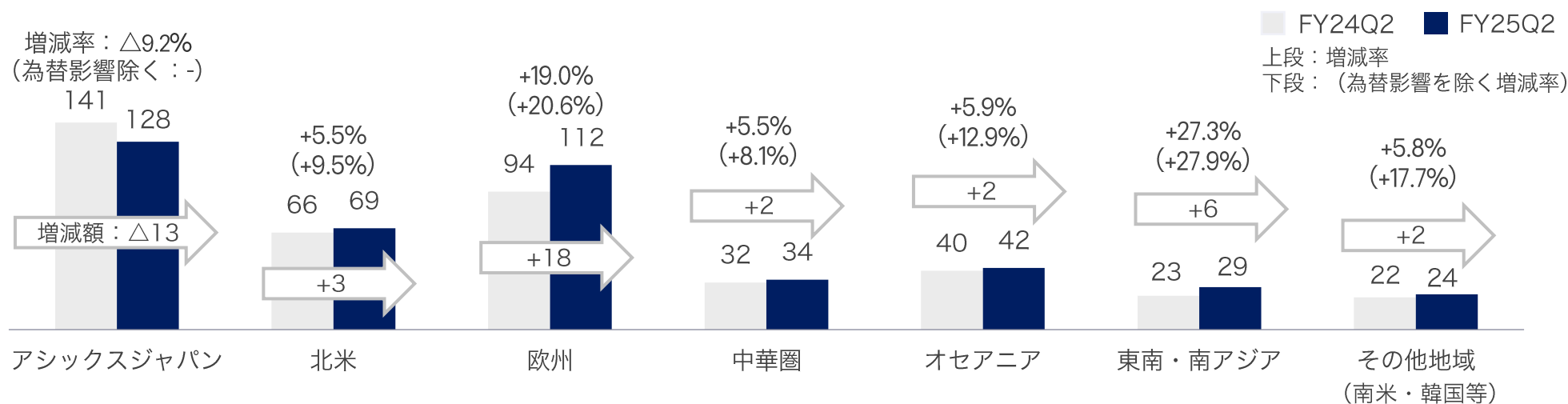
SILKYWRAP採用の素足感覚を追求したエリートプレーヤーモデル。



第2四半期 (1-6月)		FY24Q2	FY25Q2	(単位：億円) 前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	※420	441	441	+21	+4.8%
為替影響除く		451	451	+31	+7.4%
カテゴリー利益	80	93	93	+13	+16.5%
カテゴリー利益率	19.1%	21.2%	21.2%	-	+2.1ppt
3ヶ月期間 (4-6月)		FY24Q2	FY25Q2	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		172	186	+14	+8.2%
為替影響除く			196	+24	+14.1%
カテゴリー利益	16	32	32	+16	+100.0%
カテゴリー利益率	9.5%	17.5%	17.5%	-	+8.1ppt

ポイント

- 売上高は、スクール事業の縮小（※）などがあったものの、テニスやインドアスポーツ、バレーボールなどの伸長により増収。
- 第2四半期3ヶ月期間の売上高は、主に欧州、東南・南アジアでの伸長により増収。
- 粗利益率は、収益性の高いテニス、及びDTC売上構成比率の増加などにより、47.0%（前年同期比+2.2ppt）と改善。
- カテゴリー利益は、特に北米、欧州、東南・南アジアの増収、及び粗利益増加により増益。
- テニスの主要国際大会におけるOneASICS会員限定イベント開催など、プレミアムなブランド体験を提供していく。



※ FY24Q2の売上高は、アシックスジャパンスクール事業の売上高8億円を含む（FY25Q2のスクール事業売上高は僅少）。

アパレル・エキップメント (APEQ)

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)			FY24Q2	FY25Q2	前年同期比 増減額 増減率	
売	上	高	187	200	+13	+6.9%
為替影響除く				204	+17	+9.5%
カ	テ	ゴ	21	30	+9	+45.1%
カテゴリー利益率			11.3%	15.3%	-	+4.0ppt
3ヶ月期間 (4-6月)			FY24Q2	FY25Q2	前年同期比 増減額 増減率	
売	上	高	93	96	+3	+2.9%
為替影響除く				101	+8	+7.9%
カ	テ	ゴ	10	14	+4	+40.0%
カテゴリー利益率			11.5%	14.9%	-	+3.4ppt

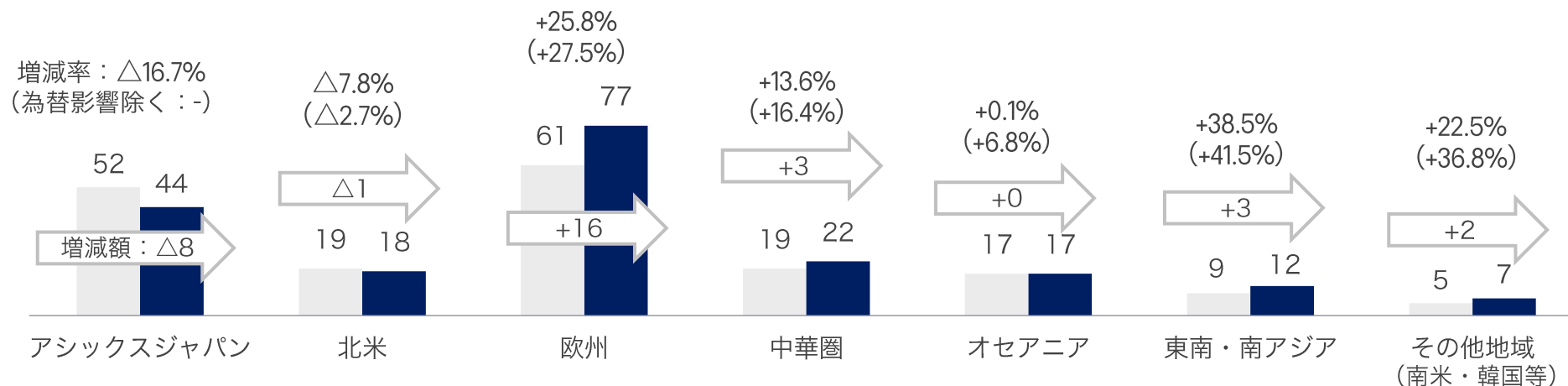
ポイント

- 売上高は、ランニング商品が好調な欧州に加え、中華圏、東南・南アジアでも増収し、カテゴリー全体で前年同期比+6.9%の増収。
- 粗利益率は、アシックスジャパンにおけるスクール事業の縮小などもあり、54.8%（前年同期比+2.2ppt）と改善。
- カテゴリー利益は、欧州の大幅増収により増益。
- 今季はROAD SEAMLESS TOPのデザインをアップデートし、フットウェアのTOKYO COLLECTIONと連動したカラーを展開。



ROAD SEAMLESS TOP

独自の通気構造ACTIBREEZE Technologyと、シームレス構造でランニング中のストレスフリーな着用感を追求するROAD SEAMLESS TOP.



スポーツスタイル (SPS)

				(単位：億円)	
第2四半期 (1-6月)		FY24Q2	FY25Q2	前年同期比 増減額	増減率
売上高		459	673	+214	+46.4%
為替影響除く			691	+232	+50.3%
カテゴリー利益		128	206	+78	+60.9%
カテゴリー利益率		27.9%	30.7%	-	+2.8ppt
3ヶ月期間 (4-6月)		FY24Q2	FY25Q2	前年同期比 増減額	増減率
売上高		224	321	+97	+43.0%
為替影響除く			341	+117	+51.3%
カテゴリー利益		57	95	+38	+66.7%
カテゴリー利益率		25.6%	29.6%	-	+4.0ppt

ポイント

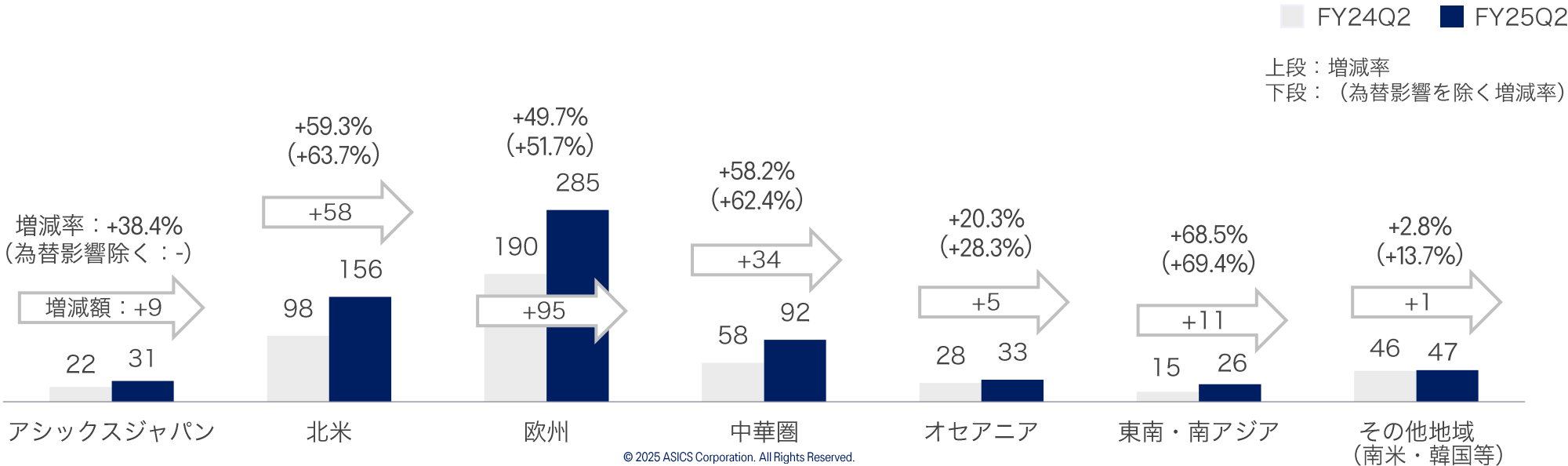
- 売上高は、前年同期比で大幅増収。
- 第2四半期3ヶ月間の売上高も、VINTAGE TECHが好調を維持、MODERNサイロのGEL-NYCやVIS-TECHのKINETIC FLUENTの売上構成比が増加し、全地域で大幅成長。
- WSチャンネルが販売スペースや取扱い店舗数の増加と好調な販売により、大きく成長した結果、粗利益率51.4%（前年同期比△0.1ppt）。
- VINTAGE TECHに続く次の主軸となる商品を打ち出していく。
- 9月には東京でポップアップイベントを実施し、世界にスポーツスタイルのブランド体験を発信する。



GEL-QUANTUM 360 I AMP

ミッドソールに360GELテクノロジーを採用し、アッパーはクローズドメッシュとさりげないブランディングロゴでより奥行きのある立体的な外観を実現したGEL-QUANTUMシリーズの発売10周年を記念したシューズ。

※AppendixにSPSのフルラインナップを掲載



オニツカタイガー (OT)



TIGER LOAFER

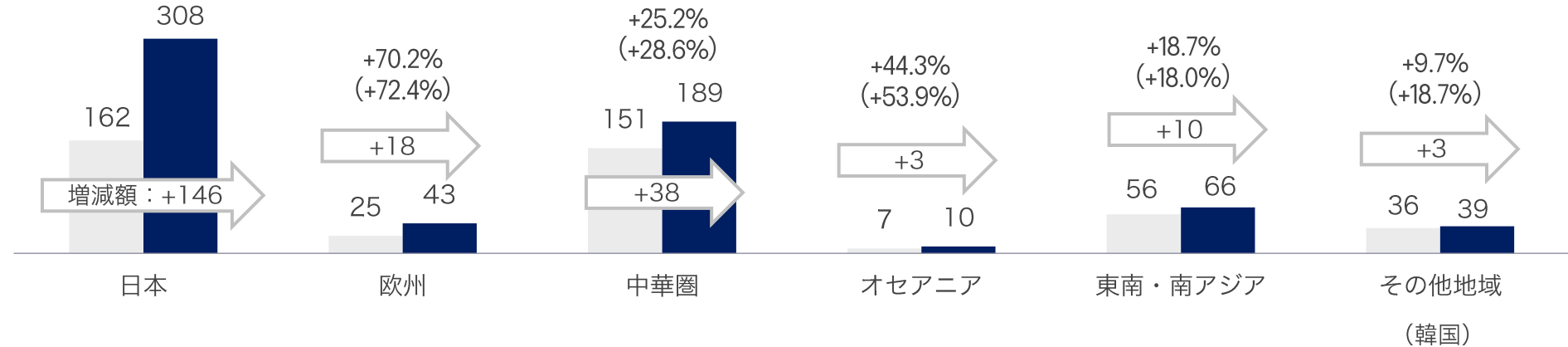
つま先部分にポリウム感をもたせたシルエットが特徴.

ポイント

- 売上高は、インバウンド売上が好調な日本、欧州、中華圏で大幅成長.
- 欧州では5月にロンドンのコベントガーデン、7月にパリのシャンゼリゼ通りに出店.
- 第2四半期3ヶ月期間のインバウンド売上は111億円となり、3ヶ月期間としては過去最高を更新(前年同期比+104.3%) . 日本国内売上も50%超の成長.
- 粗利益率は74.2% (前年同期比+0.8ppt) と引き続き高水準で推移.
- 9月にSS26ミラノファッションウィークへの参加.
- 今秋にはブランド初となる香水を販売予定.

第2四半期 (1-6月)		FY24Q2	FY25Q2	(単位：億円) 前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		438	658	+220	+50.1%
為替影響除く			668	+230	+52.2%
カテゴリ利益		166	257	+91	+54.5%
カテゴリ利益率		38.0%	39.1%	-	+1.1ppt
3ヶ月期間 (4-6月)		FY24Q2	FY25Q2	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		258	375	+117	+45.2%
為替影響除く			387	+129	+49.6%
カテゴリ利益		102	154	+52	+51.0%
カテゴリ利益率		39.4%	41.0%	-	+1.6ppt

増減率：+90.5%
(為替影響除く：-)



INDEX

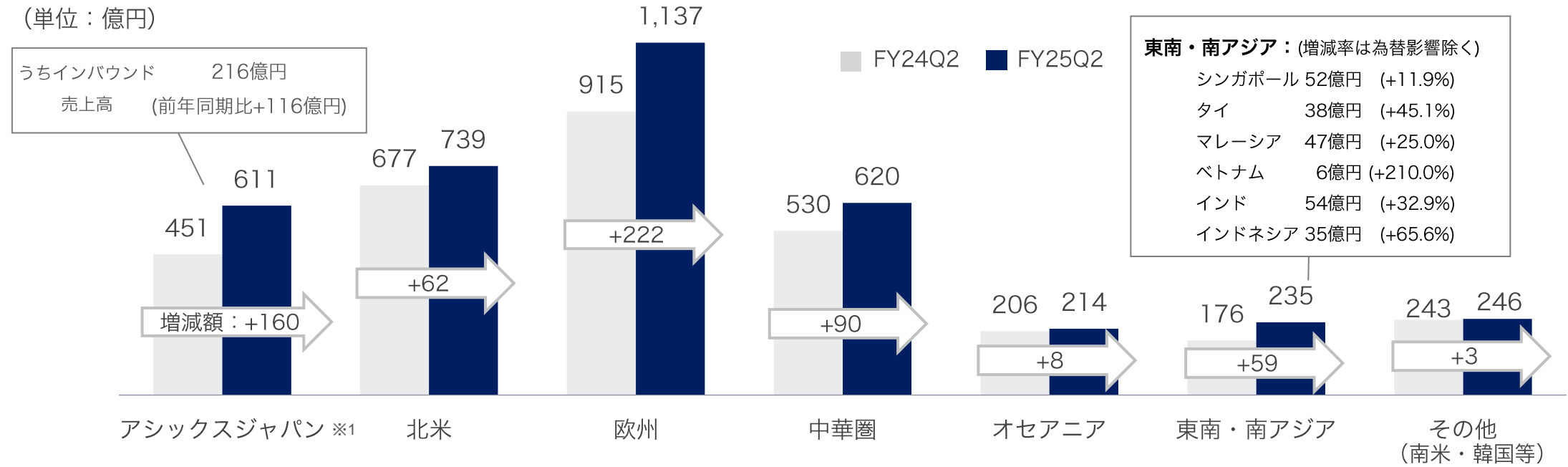
1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
- 4. 地域別連結経営成績**
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

地域別売上高

- 全地域において増収。
- アシックスジャパンは、スポーツスタイルの伸長（+38.4%）、インバウンドが好調なOTの伸長により+35.4%の成長。
- 北米は、リテールでは引き続き不採算店舗の閉鎖及びECでの販売商品の戦略的な絞り込みを行いながらも、前年同期比で+12.6%の増収。
- 欧州は、パフォーマンスランニングの堅調な成長を軸に、スポーツスタイルの増収（+51.7%）が牽引し、+25.9%と成長を維持。
- 中華圏は、ローカル需要を捉える商品が引き続き好調に推移し、+20.0%と大幅な増収を継続。
- 東南・南アジアは、パフォーマンスランニングの増収（+39.4%）、スポーツスタイルの増収（+69.4%）が牽引し、+33.8%と大幅成長。

（単位：億円）

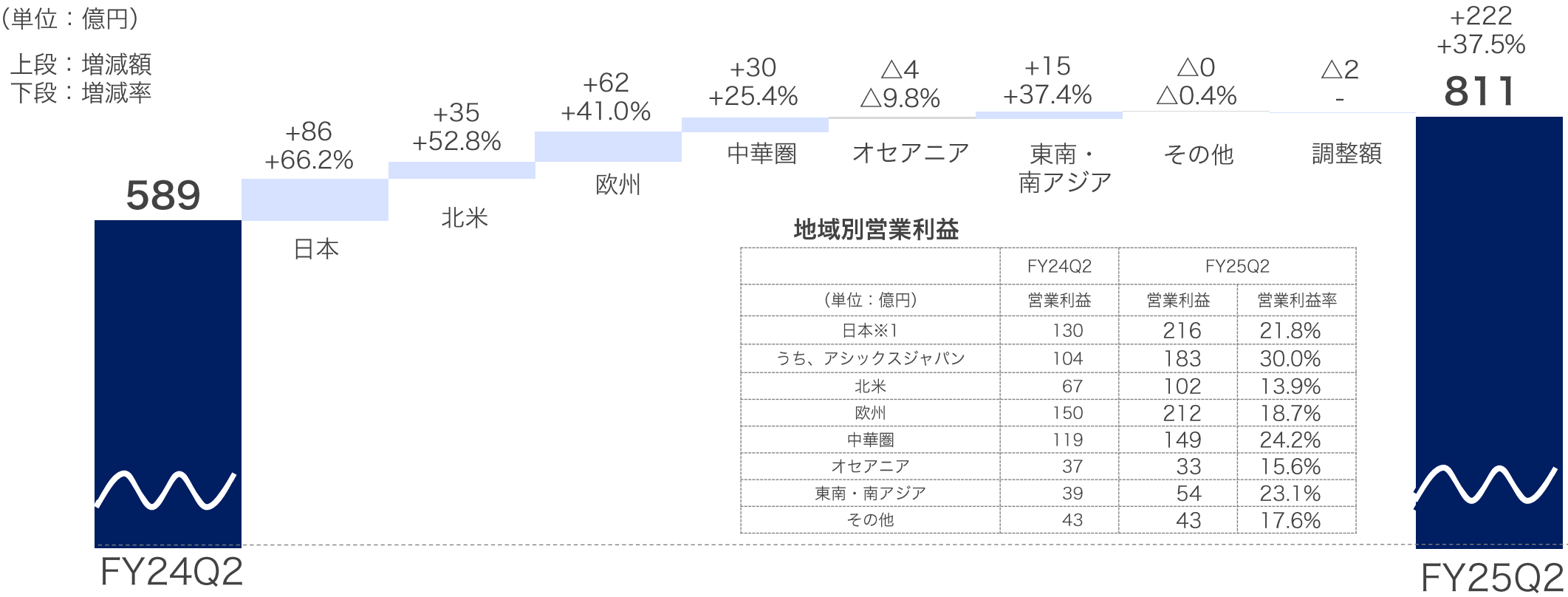


増減率	+35.4%	+9.1%	+24.2%	+16.9%	+3.8%	+33.4%	+1.3%
為替影響を除く	-	+12.6%	+25.9%	+20.0%	+10.7%	+33.8%	+13.2%

※1 決算短信における日本地域の売上は、前年同期798億円、当期992億円です。当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要5カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております。

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、OTの増収やAPEQの収益性改善により、粗利益率が向上。販管費率の低下もあり営業利益率30.0%と大幅に改善。
- 欧州は、販売価格適正化による粗利益率の改善もあり、営業利益率は18.7%（前年同期比+2.2pt）。
- 中華圏は、販売価格適正化やDTC比率の向上による粗利益率の改善もあり、営業利益率は24.2%（前年同期比+1.7pt）。

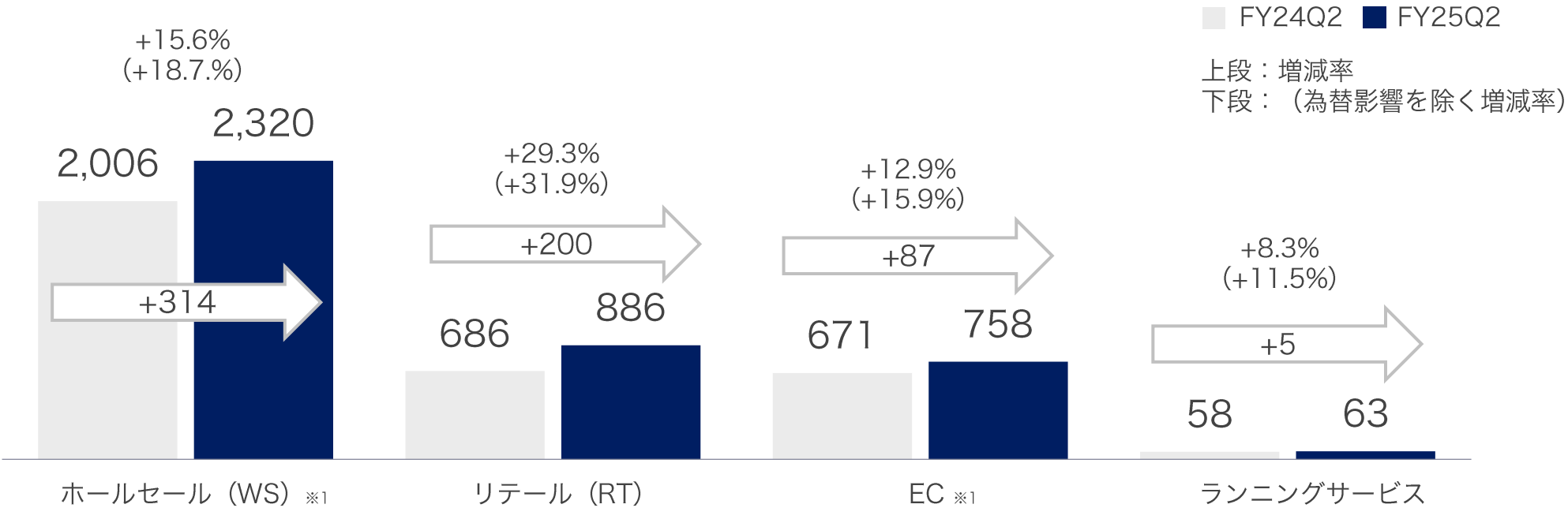


※1 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

チャネル別売上高

- 全チャネルにおいて増収
- ホールセールは、北米、欧州、東南・南アジアの増収により前年同期比+18.7%（北米+33.6%、欧州+28.7%、東南・南アジア+30.2%）
- リテールは、日本、中華圏、東南・南アジアなどの増収により前年同期比+31.9%（アシックスジャパン +79.2%、中華圏 +21.4%、東南・南アジア+24.7%）
営業利益は全ての地域で黒字化。営業利益率は大きく改善し、24.0%に。（前年同期比+5.6ppt）
- ECは、前年同期比+15.9%、営業利益率は20.8%（前年同期比+6.1ppt）。但し、戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと+30%超の成長。

（単位：億円）



チャネル別
売上高構成

58.7%	57.6%	20.0%	22.0%	19.6%	18.8%	1.7%	1.6%
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------

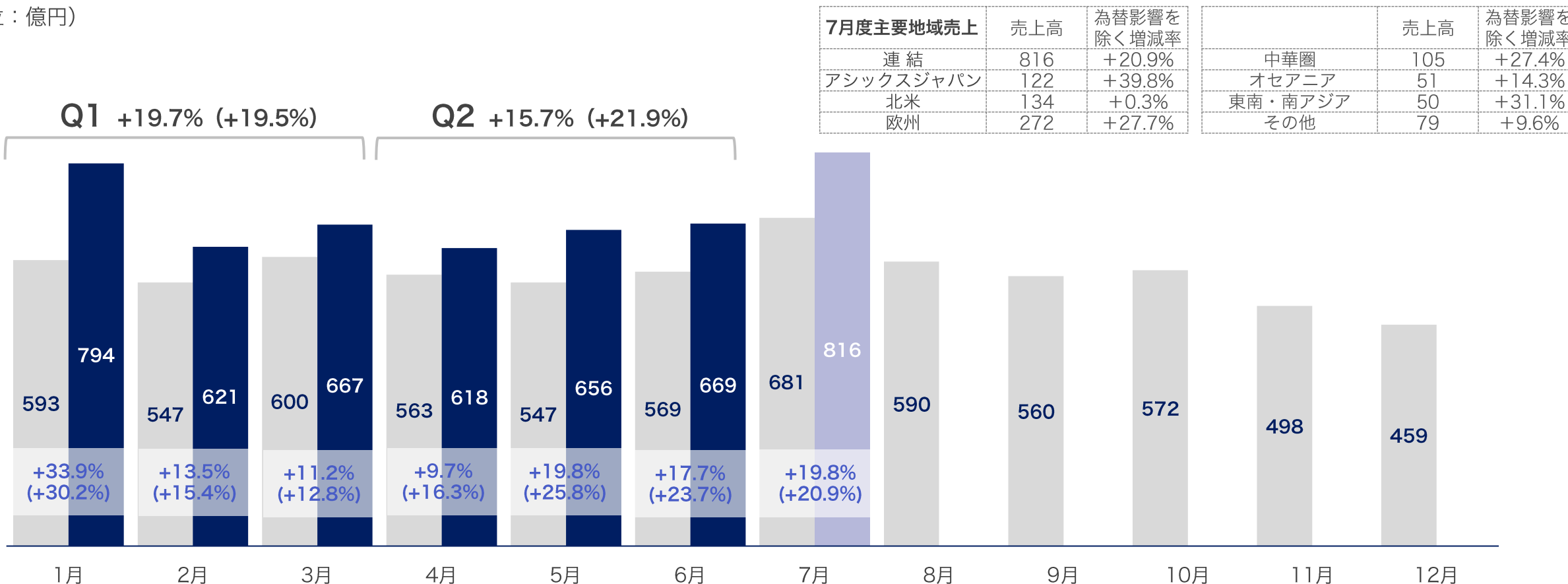
※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。

連結売上高（月別・四半期別）

■ FY25
■ FY24
■ 売上速報
■ 前年同月比%（為替影響を除く増減率）

- 25年7月単月売上は単月過去最高の816億円※。前年同月比+19.8%（為替影響除くと+20.9%）、計画比+6.7%（為替影響除くと+5.1%）。
- SPSは+44.3%（為替影響除くと+45.7%）、OTは+40.2%（為替影響除くと+41.1%）と引き続き大幅増収。
- 地域別では、アシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアなどで大幅増収。アシックスジャパンのインバウンド売上は35億円（内、OT 31億円）と、前年同月の21億円（内、OT 17億円）を大きく上回る（+65.9%増収）。
- 北米は、不採算店舗の閉鎖及びECでの戦略的絞り込みが進捗する一方で、WSは前年同月比+28.9%の増収。なお7月度単月は計画比+16.1%で着地する見込み。

（単位：億円）



※ 2025年7月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。

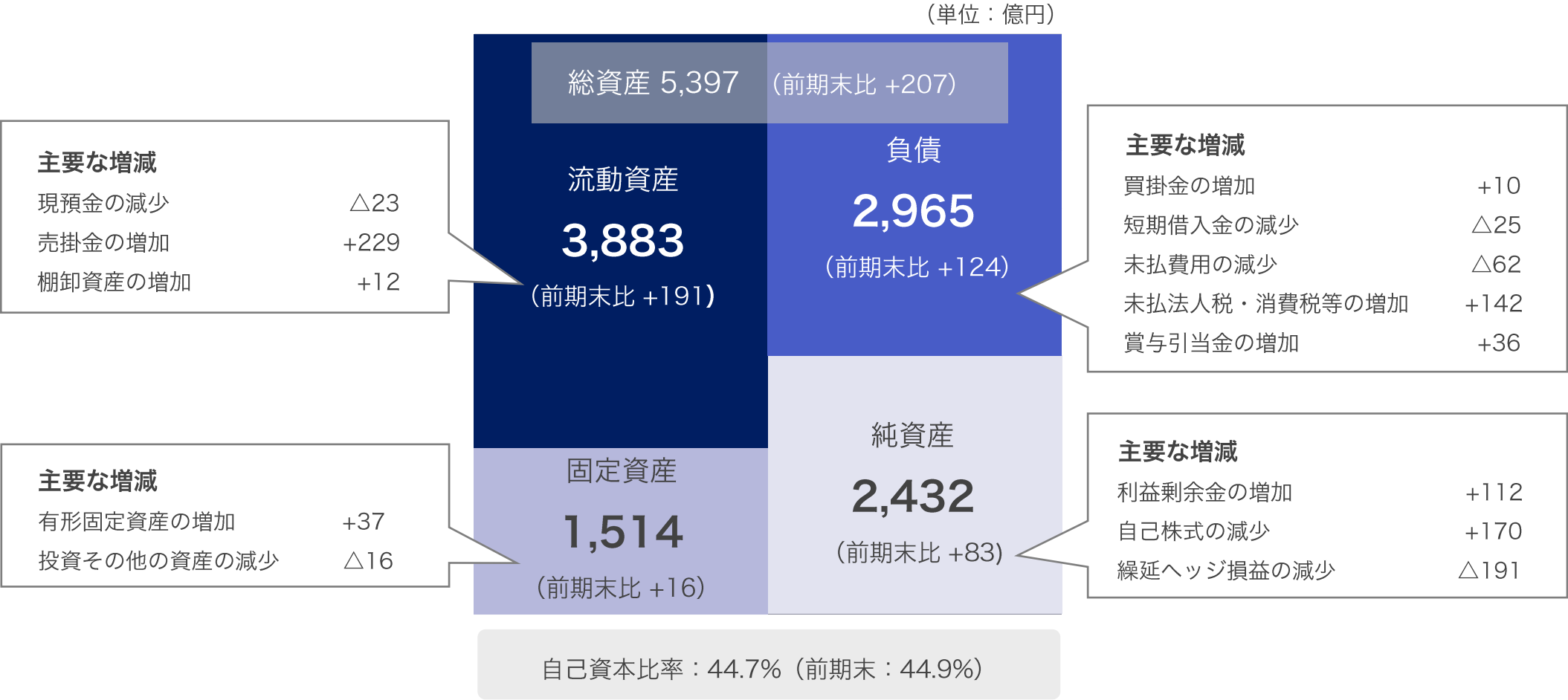
INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
- 5. 連結財政状態**
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

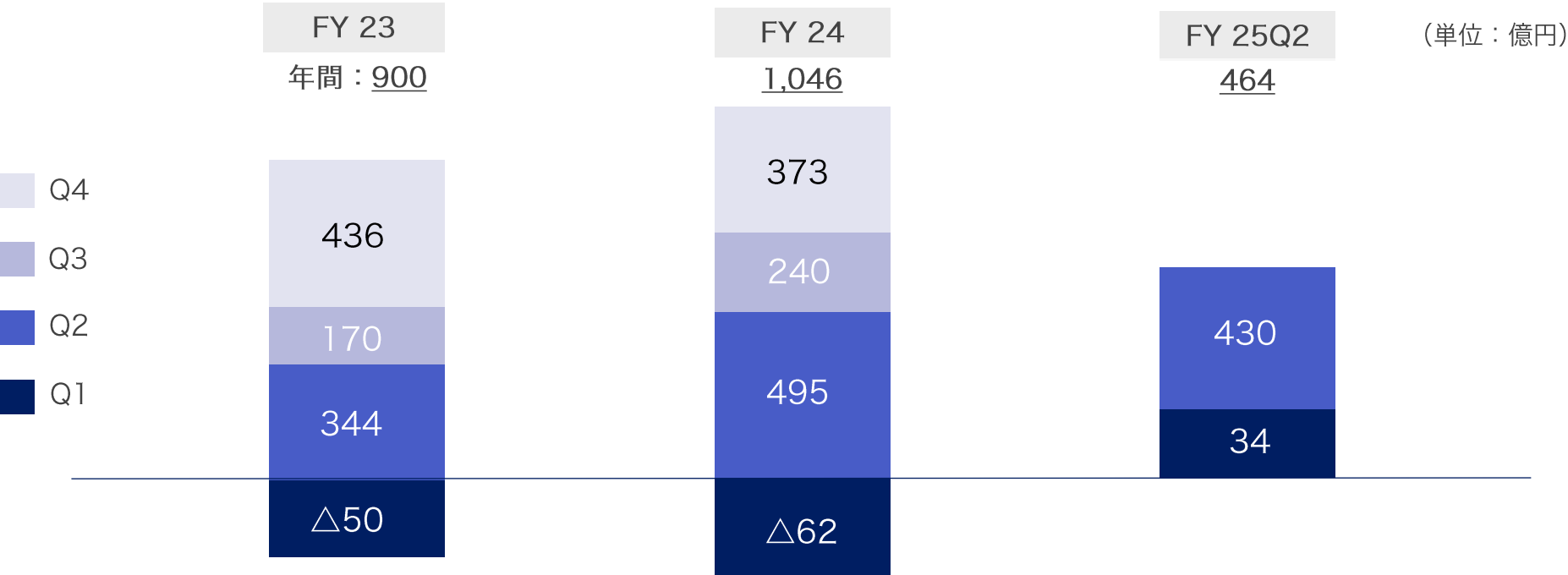
連結貸借対照表

- ・ 現預金は、利益の積み上げがあったものの、自己株式の取得（200億円）や期末配当の実施（71億円）、短期借入金の返済（25億円）により減少。
- ・ 増収に伴い売掛金は増加。 棚卸資産は、継続的な在庫管理の強化により、好調に業績が推移する中でも概ね前年並の水準を維持。



連結営業キャッシュフロー

- 連結CCCは、DIOの改善などに伴い前年同期比26日良化。
- その結果、累計営業キャッシュフローは、中間期としては過去最高の464億円。



連結CCC

	FY24Q2	FY24Q4	FY25Q2	前年同期比	（単位：日数） 前期末比
DSO （売掛債権回転期間）	53	49	45	8日良化	4日良化
DIO （棚卸資産回転期間）	158	151	147	11日良化	4日良化
DPO （買掛債務回転期間）	58	64	65	7日良化	1日良化
CCC	153	136	127	26日良化	9日良化

カテゴリー別／主要地域別DIO及び棚卸資産

- カテゴリー別では、全カテゴリーにおいて前年同期比及び前期末比でDIOが改善。
- 主要地域別では、OTが好調なアシックスジャパンとSPSが好調な中国で、戦略的に在庫を積み増したものの、今後DIOは改善見込み。
- 相互関税対策による前倒し出荷があった一方で、低価格帯商品の圧縮などが奏功し前年同期比で大幅なDIO短縮を実現。

■連結DIO（単位：億円）		FY24Q2	FY24Q4	FY25Q2	前年同期比	前期末比
連結	DIO	158日	151日	147日	△11日	△4日
	棚卸資産	1,281	1,375	1,387	+106	+12

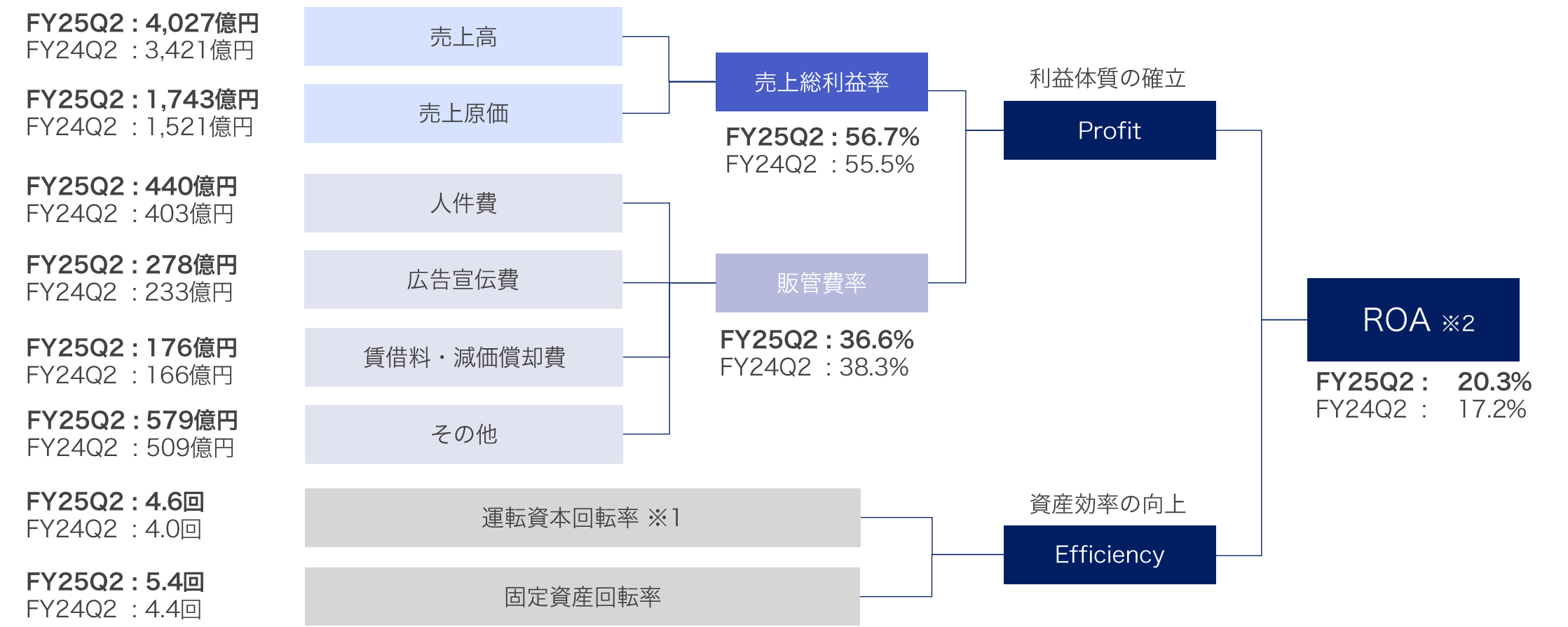
■カテゴリー別（単位：億円）※		FY24Q2	FY24Q4	FY25Q2	前年同期比	前期末比
P.RUN	DIO	114日	105日	95日	△19日	△10日
	棚卸資産	535	496	469	△66	△27
CPS	DIO	102日	95日	88日	△14日	△7日
	棚卸資産	124	134	120	△4	△14
APEQ	DIO	184日	161日	158日	△26日	△3日
	棚卸資産	86	78	87	+1	+9
SPS	DIO	97日	87日	81日	△16日	△6日
	棚卸資産	125	146	160	+35	+14
OT	DIO	211日	211日	209日	△2日	△2日
	棚卸資産	165	194	204	+39	+10

※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません。

■主要地域別（単位：現地通貨）		FY24Q2	FY24Q4	FY25Q2	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン （億円）	DIO	121日	122日	131日	+10日	+9日
	棚卸資産	118	166	163	+45	△3
米国 （M USD）	DIO	142日	124日	110日	△32日	△14日
	棚卸資産	156	143	139	△17	△4
欧州 （M EUR）	DIO	170日	155日	144日	△26日	△11日
	棚卸資産	212	234	235	+23	+1
中国 （M RMB）	DIO	161日	170日	172日	+11日	+2日
	棚卸資産	746	926	869	+123	△57

ROAツリー分解

- 高付加価値製品への戦略的なシフトやチャネルミックスの良化などが奏功し売上総利益率が向上したほか、増収及びコスト最適化による効率改善により販管費率も低下。
- 資産効率の面では、増収効果に加え、DIOの改善により運転資本回転率が向上し、政策保有株式の売却等により固定資産回転率も改善。



※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA = $\frac{2025年12月期第2四半期純利益}{(2024年12月期期末総資産 + 2025年12月期第2四半期末総資産) \div 2} \times 2$

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
- 6. 連結業績予想**
7. IR関連トピックス

Appendix

- 2025年12月期第2四半期は全カテゴリー、全地域で順調に進捗。
- 2025年12月期は、パフォーマンスランニング、スポーツスタイル及びオニツカタイガーの足元の好調な状況を考慮した結果、売上高は前年比+17.9%増収の8,000億円、営業利益は同+35.8%増益の1,360億円を見込む。その結果、中期経営計画を前倒し達成する見込み。
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、中間配当12円、期末配当16円の通期28円を見込む。

(単位：億円)	FY24 実績	FY25 予想	増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売上高	6,785	8,000	+17.9%	+19.9%
営業利益	1,001	1,360	+35.8%	+38.4%
営業利益率	14.8%	17.0%	+2.2ppt	-
経常利益	926	1,310	+41.5%	-
親会社株主に帰属する				
当期純利益	638	870	+36.4%	-

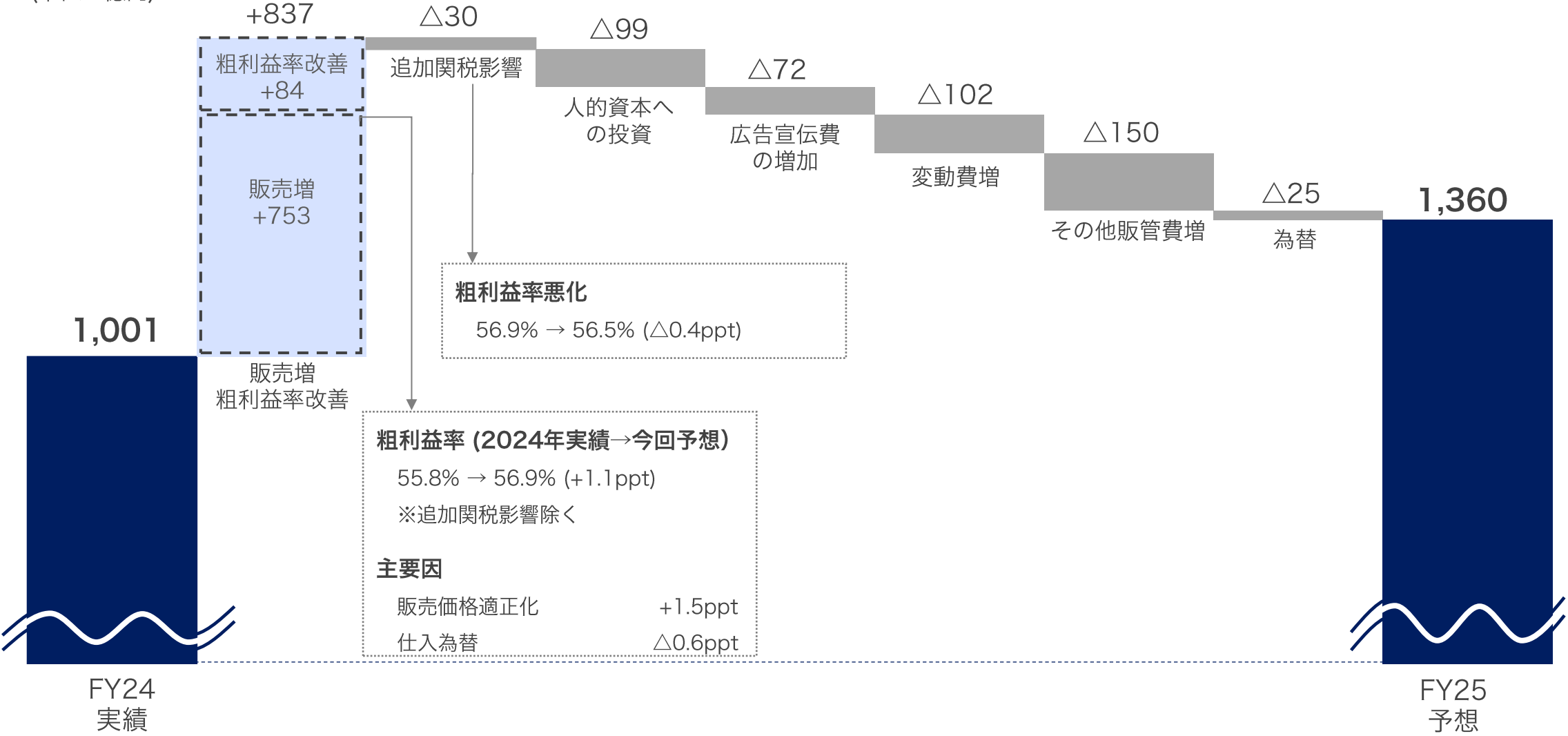
配当金	中間	期末	通期
2024年12月期	(※) 10.0円	10.0円	20.0円
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2024年12月期	151.36	163.66	21.06
2025年12月期	150.00	160.00	20.00

※ 2024年7月1日を効力発生日として1：4の株式分割を実施(分割前40円)。

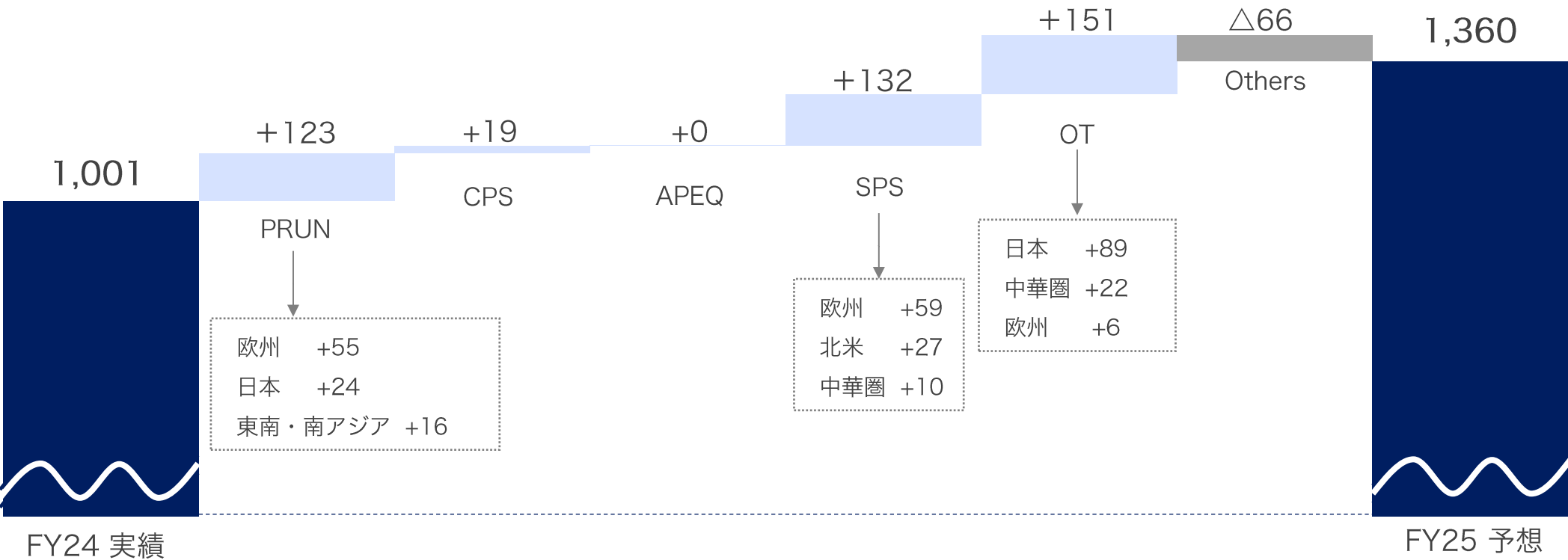
2025年12月期 連結営業利益予想増減：要素別（前年比）

(単位：億円)



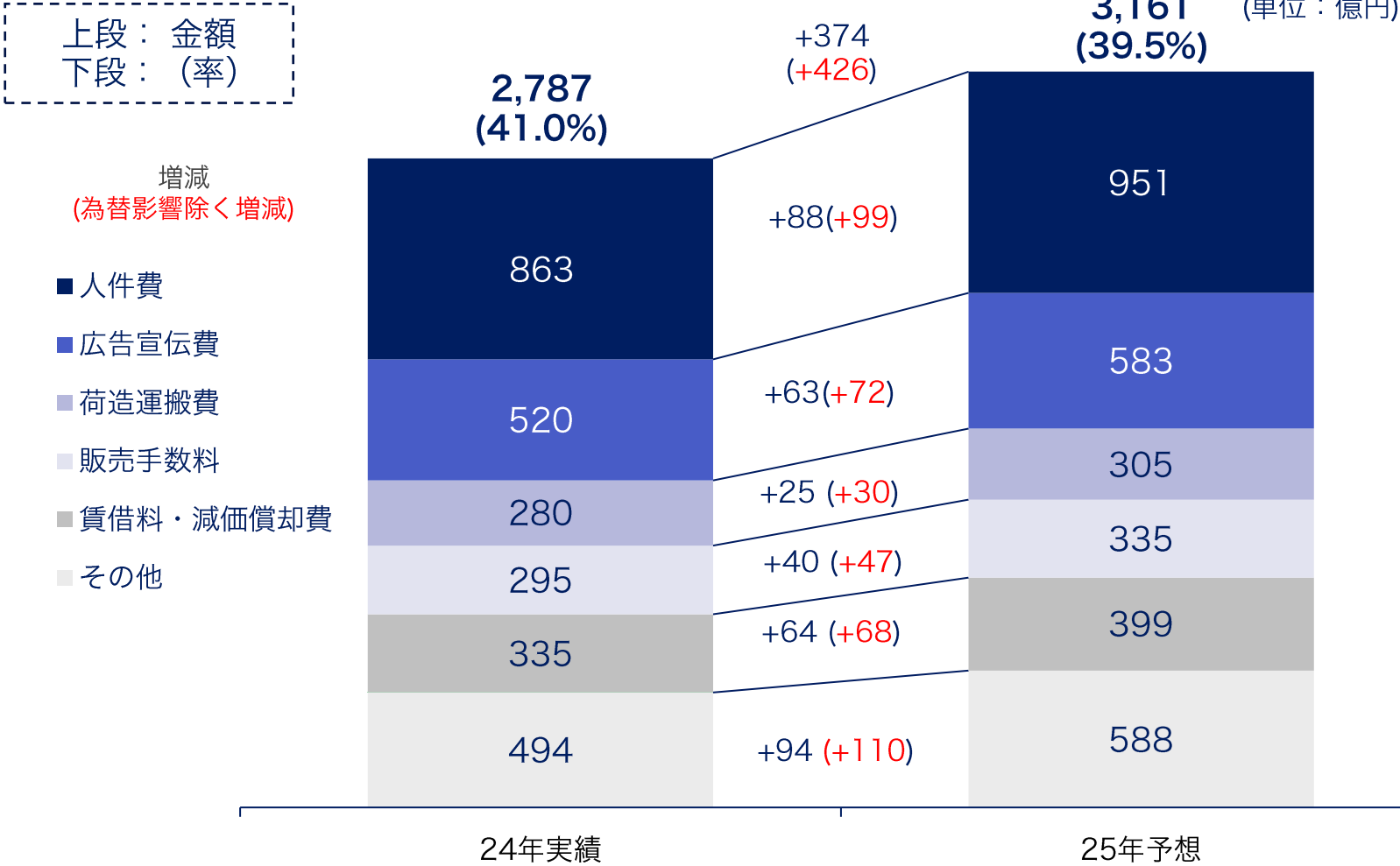
2025年12月期 連結営業利益予想増減：カテゴリー別（前年比）

(単位：億円)



2025年12月期 販管費

- 2025年の販管費は、前年比で374億円増の3,161億円.
- 主な増加要因は、人的資本投資の強化による人件費増加や広告宣伝費の増加及び増収に伴う変動費の増加.
- 販管費率は39.5%、引き続き規律ある販管費コントロールを実施.



＜参考：平均為替レート(円)＞

年間(1~12月)	FY24 実績	FY25 予想
1ドル	151.36	150.00
1ユーロ	163.66	160.00
1人民元	21.06	20.00

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
- 7. IR関連トピックス**

Appendix

個人投資家向けIR活動

- ・ 昨年までの「アシックス通信※」を通じた年一回のコミュニケーションから情報発信のスタイルを多様化し、質量ともに抜本的に強化
- ・ アシックスについて多面的な切り口からご紹介し、幅広い方々に興味をもっていただけることを目指す

※アシックス通信は今年を最後に廃止予定

1 メール配信 - IRチームからのお便り -

個人投資家の皆様へのメール配信を2024年10月に開始
メールアドレスをご登録いただいた方には、下記のような情報をお届け

- ・ マネジメントによる決算ポイント解説動画
- ・ アシックスサポート選手からのメッセージ
- ・ 個人投資家様向け体験型IR説明会の様子
- ・ 各都市のランニングコースのご紹介
- ・ IRイベントの舞台裏 等



ぜひこちらから
ご登録をお願い
いたします

2 体験型IR説明会 (説明会のお申込みは[こちら](#)からご応募いただけます)

2025年3月から、札幌・仙台・東京・名古屋・神戸・広島・福岡・那覇の8都市
で個人投資家を対象とした体験型IR説明会を開催

主なコンテンツ

- ・ マネジメントによるプレゼンテーション
- ・ ゲストスピーカーとの対談
- ・ アシックスのアーカイブ展示
- ・ デジタルサービス体験
- ・ シューズ試し履き 等



3 HPリニューアル

2025年4月にアシックスコーポレートサイトを全面リニューアル
IR面談数を四半期ごとに開示、また業績チャートや株価チャートを導入



株主還元

経営上の最重要課題のひとつである株主の価値に対する利益還元についてご紹介します。



株主優待

アシックスの商品を優待価格でご購入いただける株主優待制度についてご紹介します。

Number of IR meetings

IR面談件数

1,095 件

2025年累積件数

4 IR BOOK

個人投資家の皆様向けの会社概要説明資料として作成、ホームページ上で開示
アシックスの創業哲学や沿革に加え、近年の好調な業績を支える経営改革や
カテゴリー経営体制等を紹介



主なイベント			
2025年	8月24日（日）	11:00 – 12:45 14:00 – 15:45	個人投資家向け IR説明会 @仙台
	9月27日（土）	11:00 – 13:00	個人投資家向け IR説明会 @神戸
	11月12日（水）	13:00開示	2025年12月期 第3四半期決算発表
	11月12日（水）	14:00 – 15:00	2025年12月期 第3四半期決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
	11月15日（土）	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @名古屋
	11月20日（木）	時間未定	インベストメントデイ
	12月14日（日）	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @広島
2026年	2月13日（金）	13:00開示	2025年12月期決算発表
	2月16日（月）	14:00 – 15:00	2025年12月期決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
	2月23日（月）	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @東京

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IR関連トピックス

Appendix

2024年は営業利益1,000億円の大台に初めて到達、ステージが完全に変わったアシックスがこれからも成長をさらに加速させたいということを発信するため、「アシックスは走り続ける」をテーマに作成

特集・対談

- 1 CEO・COO・CFOのマネジメントメッセージ
2024年度の振り返り、One ASICS経営やサプライチェーン改革への取組み、個人投資家向け施策など今後の戦略について記載
- 2 財団設立・資本政策
企業価値向上に向けた取組みとして、財団設立と資本政策について時系列で詳細にまとめ、アシックスの「ガチンコ経営」を訴求
- 3 社外取締役×機関投資家 対談
村井取締役と機関投資家等による対談において、業績牽引の要因等について議論いただく



CEOメッセージ動画
はこちら

「統合報告書2024」
はこちら



環境・社会に関する取組み

「サステナビリティレポート2024」の発行

([こちら](#)からご覧いただけます)



環境

- サーキュラーエコノミーの実現に向けて開発したスニーカー「NEOCURVE™」の製造技術を初めて他の製品に利用し、カリモク家具の「カリモクニュースタANDARD」との協働により、アシックス製シューズのデッドストックやサンプル品を粉砕した材料を原料に用いたソファを製作



社会

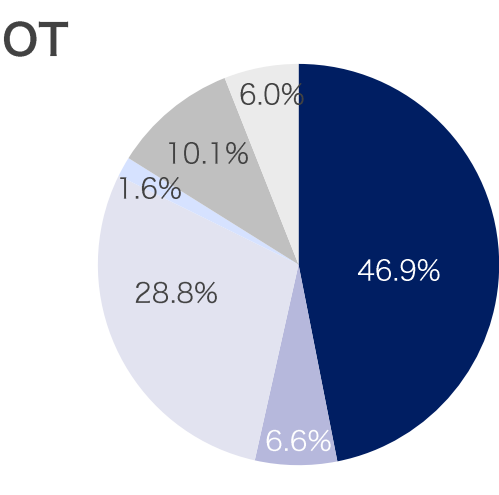
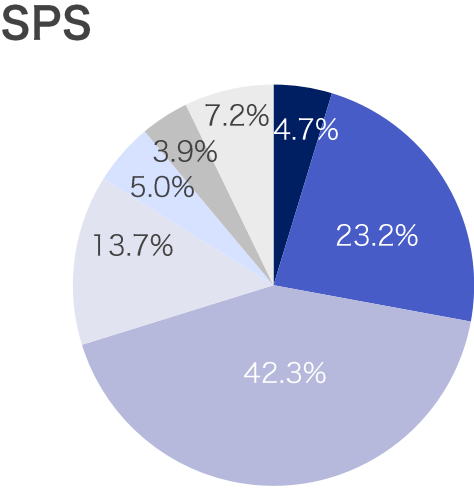
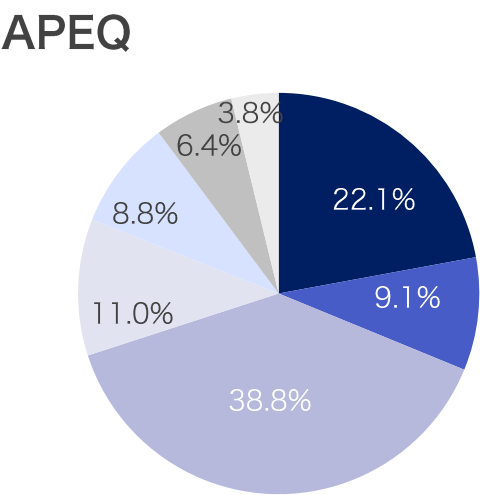
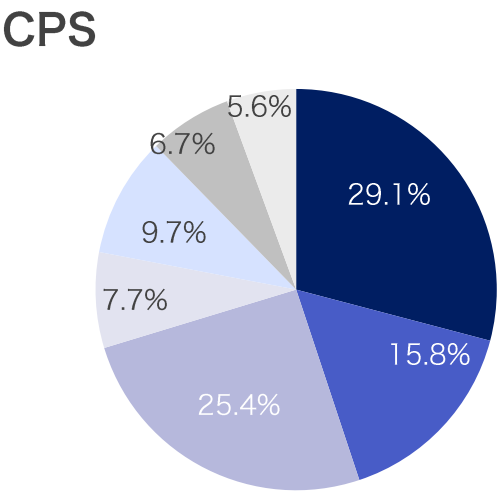
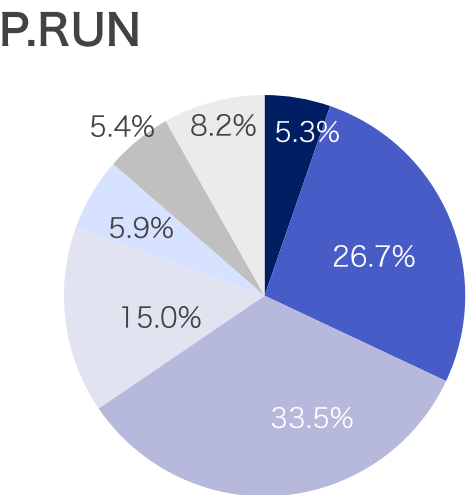
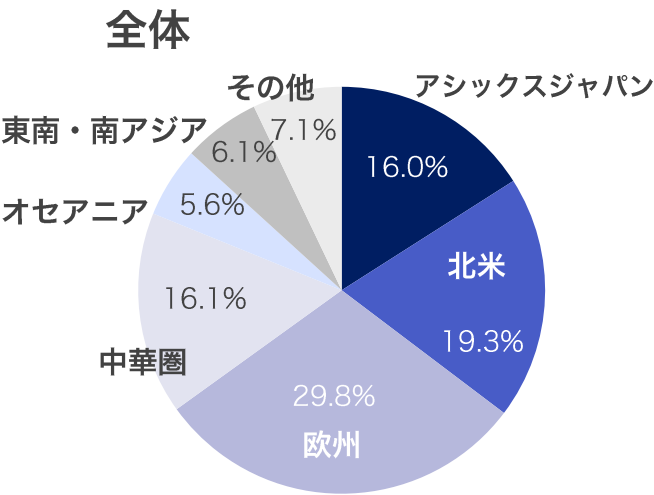
- スポーツの力で共生社会の実現を目指し、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）・公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）とスポーツ用品のカテゴリーでTEAM JAPAN パートナーシップ契約を締結。誰もが一生涯運動・スポーツに関わり心と身体が健康でい続けられるよう、サステナビリティやダイバーシティを軸にした製品開発、キャンペーン、啓蒙活動を推進
- アジアでのパラスポーツの発展に向けて、6月25日にアジアパラリンピック委員会（以下：APC）と公式サプライヤー契約を締結。第5回アジアパラ競技大会にてAPCスタッフへの製品を提供するほか、パラスポーツの認知向上・インクルーシブな社会の実現に向けた共同施策を展開



APC タレック・ソウエイCEO（左）と
CEO廣田（右）のオンライン調印式の様子

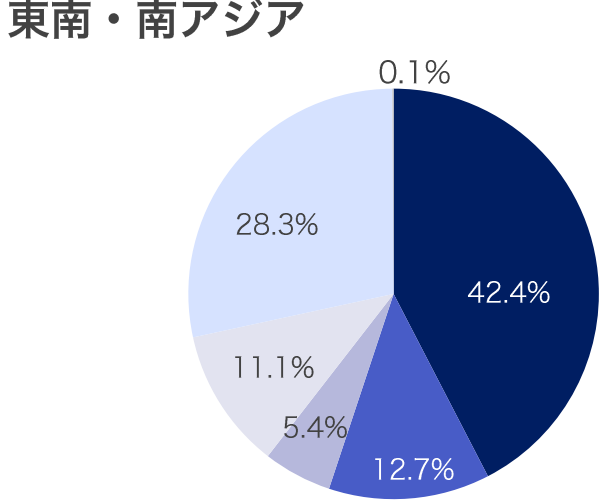
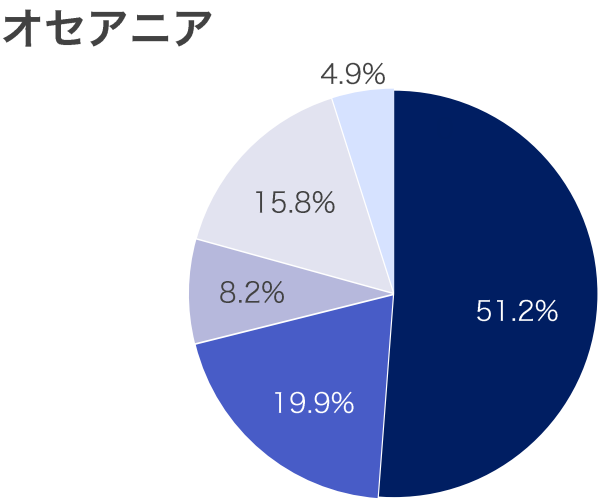
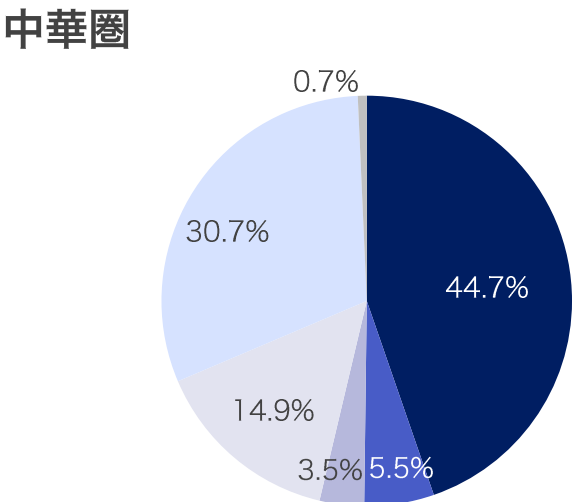
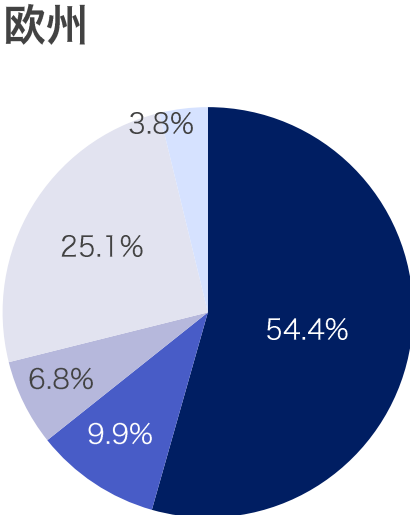
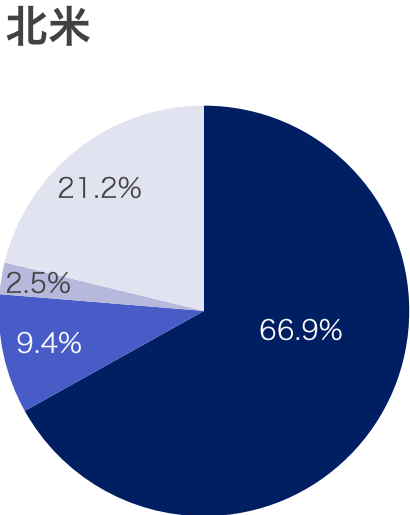
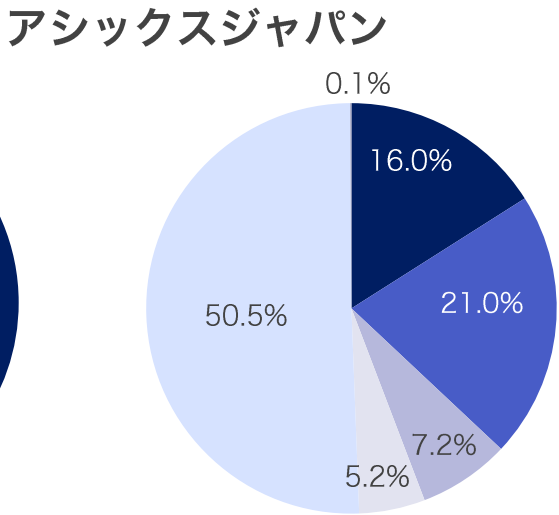
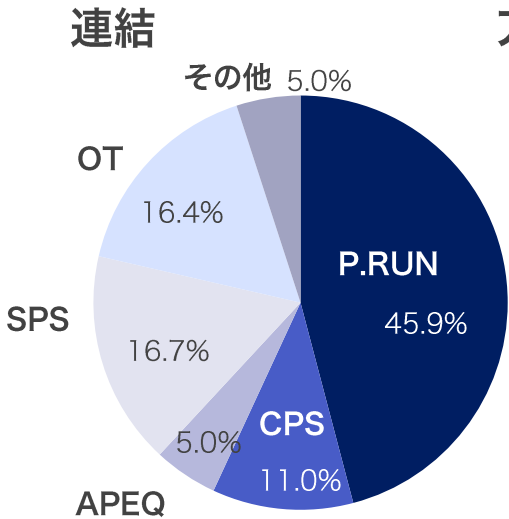
| カテゴリー別地域別売上高構成（2025年12月期第2四半期）

■アシックスジャパン ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■オセアニア ■東南・南アジア ■その他



主要地域別カテゴリー別売上高構成（2025年12月期第2四半期）

■P.Run ■CPS ■APEQ ■SPS ■OT ■その他



2025年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比		中華圏	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	798	992	+194	+24.3%	売上高	530	620	+90	+16.9%
為替影響除く					為替影響除く		636	+106	+20.0%
営業利益	130	216	+86	+66.2%	営業利益	119	149	+30	+25.4%
営業利益率	16.3%	21.8%	-	+5.5ppt	営業利益率	22.5%	24.2%	-	+1.7ppt
アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比		オセアニア	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	451	611	+160	+35.4%	売上高	206	214	+8	+3.8%
為替影響除く					為替影響除く		228	+22	+10.7%
営業利益	104	183	+79	+76.3%	営業利益	37	33	△4	△9.8%
営業利益率	23.1%	30.0%	-	+6.9ppt	営業利益率	18.0%	15.6%	-	△2.4ppt
北米	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比		東南・南アジア	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	677	739	+62	+9.1%	売上高	176	235	+59	+33.4%
為替影響除く		762	+85	+12.6%	為替影響除く		235	+59	+33.8%
営業利益	67	102	+35	+52.8%	営業利益	39	54	+15	+37.4%
営業利益率	9.9%	13.9%	-	4.0ppt	営業利益率	22.4%	23.1%	-	+0.7ppt
欧州	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比		その他地域	FY24Q2 (1-6月)	FY25Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	915	1,137	+222	+24.2%	売上高	243	246	+3	+1.3%
為替影響除く		1,152	+237	+25.9%	為替影響除く		275	+32	+13.2%
営業利益	150	212	+62	+41.0%	営業利益	43	43	△0	△0.4%
営業利益率	16.5%	18.7%	-	+2.2ppt	営業利益率	17.9%	17.6%	-	△0.3ppt

2025年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比		中華圏	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	398	487	+89	+22.4%	売上高	292	330	+38	+13.2%
為替影響除く					為替影響除く		352	+60	+20.5%
営業利益	65	110	+45	+70.8%	営業利益	62	82	+20	+33.0%
営業利益率	16.1%	22.5%	-	+6.4ppt	営業利益率	21.1%	24.9%	-	+3.8ppt
アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比		オセアニア	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	213	294	+81	+38.0%	売上高	90	90	+0	+0.0%
為替影響除く					為替影響除く		102	+12	+13.1%
営業利益	52	93	+41	+79.1%	営業利益	12	11	△1	△5.3%
営業利益率	24.4%	31.7%	-	+7.3ppt	営業利益率	13.4%	12.7%	-	△0.7ppt
北米	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比		東南・南アジア	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	347	348	+1	+0.3%	売上高	85	110	+25	+29.8%
為替影響除く		380	+33	+9.4%	為替影響除く		115	+30	+36.1%
営業利益	33	45	+12	+38.5%	営業利益	17	24	+7	+38.1%
営業利益率	9.3%	12.9%	-	+3.6ppt	営業利益率	20.3%	21.6%	-	+1.3ppt
欧州	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比		その他地域	FY24Q2 (4-6月)	FY25Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	432	550	+118	+27.2%	売上高	116	117	+1	+1.0%
為替影響除く		566	+134	+31.1%	為替影響除く		133	+17	+14.7%
営業利益	54	94	+40	+74.2%	営業利益	18	20	+2	+7.1%
営業利益率	12.5%	17.1%	-	+4.6ppt	営業利益率	15.9%	16.8%	-	+0.9ppt

2025年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,269	3,680	+12.6%	+14.6%
	カテゴリー利益	707	830	+17.4%	+19.4%
	カテゴリー利益率	21.6%	22.6%	+1.0ppt	-
CPS	売上高	786	845	+7.5%	+8.8%
	カテゴリー利益	141	160	+13.4%	+14.8%
	カテゴリー利益率	17.9%	18.9%	+1.0ppt	-
APEQ	売上高	380	380	-	+1.8%
	カテゴリー利益	43	43	-	+1.9%
	カテゴリー利益率	11.4%	11.4%	-	-
SPS	売上高	984	1,370	+39.2%	+41.9%
	カテゴリー利益	268	400	+48.8%	+51.5%
	カテゴリー利益率	27.3%	29.2%	+1.9ppt	-
OT	売上高	954	1,270	+33.1%	+35.5%
	カテゴリー利益	324	475	+46.4%	+48.2%
	カテゴリー利益率	34.0%	37.4%	+3.4ppt	-

2025年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,664	1,880	+13.0%	+13.0%
	営業利益	276	435	+57.2%	+57.2%
	営業利益率	16.6%	23.1%	+6.5ppt	-
うち、アシックスジャパン	売上高	945	1,180	+24.8%	+24.8%
	営業利益	221	375	+68.9%	+68.9%
	営業利益率	23.5%	31.8%	+8.3ppt	-
北米 地域	売上高	1,350	1,450	+7.4%	+8.1%
	営業利益	112	150	+33.0%	+33.5%
	営業利益率	8.3%	10.3%	+2.0ppt	-
欧州 地域	売上高	1,793	2,150	+19.9%	+22.9%
	営業利益	252	360	+42.3%	+46.3%
	営業利益率	14.1%	16.7%	+2.6ppt	-
中華圏 地域	売上高	1,004	1,220	+21.4%	+27.4%
	営業利益	193	240	+24.1%	+30.3%
	営業利益率	19.3%	19.7%	+0.4ppt	-
オセアニア 地域	売上高	429	500	+16.3%	+16.2%
	営業利益	76	95	+24.4%	+24.3%
	営業利益率	17.8%	19.0%	+1.2ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	373	470	+25.9%	+29.2%
	営業利益	74	105	+41.6%	+45.8%
	営業利益率	20.0%	22.3%	+2.3ppt	-

※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

2025年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY25 前回予想	FY25 今回予想	増減率
P.RUN	売上高	3,580	3,680	+2.8%
	カテゴリー利益	800	830	+3.8%
	カテゴリー利益率	22.3%	22.6%	+0.3ppt
CPS	売上高	840	845	+0.6%
	カテゴリー利益	150	160	+6.7%
	カテゴリー利益率	17.9%	18.9%	+1.0ppt
APEQ	売上高	380	380	-
	カテゴリー利益	43	43	-
	カテゴリー利益率	11.4%	11.4%	-
SPS	売上高	1,320	1,370	+3.8%
	カテゴリー利益	370	400	+8.1%
	カテゴリー利益率	28.0%	29.2%	+1.2ppt
OT	売上高	1,200	1,270	+5.8%
	カテゴリー利益	450	475	+5.6%
	カテゴリー利益率	37.5%	37.4%	△0.1ppt

2025年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)

		FY25 前回予想	FY25 今回予想	増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,850	1,880	+1.6%
	営業利益	410	435	+6.1%
	営業利益率	22.2%	23.1%	+0.9ppt
うち、アシックスジャパン	売上高	1,150	1,180	+2.6%
	営業利益	350	375	+7.1%
	営業利益率	30.4%	31.8%	+1.4ppt
北米 地域	売上高	1,360	1,450	+6.6%
	営業利益	115	150	+30.4%
	営業利益率	8.5%	10.3%	+1.8ppt
欧州 地域	売上高	2,050	2,150	+4.9%
	営業利益	320	360	+12.5%
	営業利益率	15.6%	16.7%	+1.1ppt
中華圏 地域	売上高	1,220	1,220	-
	営業利益	240	240	-
	営業利益率	19.7%	19.7%	-
オセアニア 地域	売上高	475	500	+5.3%
	営業利益	85	95	+11.8%
	営業利益率	17.9%	19.0%	+1.1ppt
東南・南アジア 地域	売上高	470	470	-
	営業利益	105	105	-
	営業利益率	22.3%	22.3%	-

※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

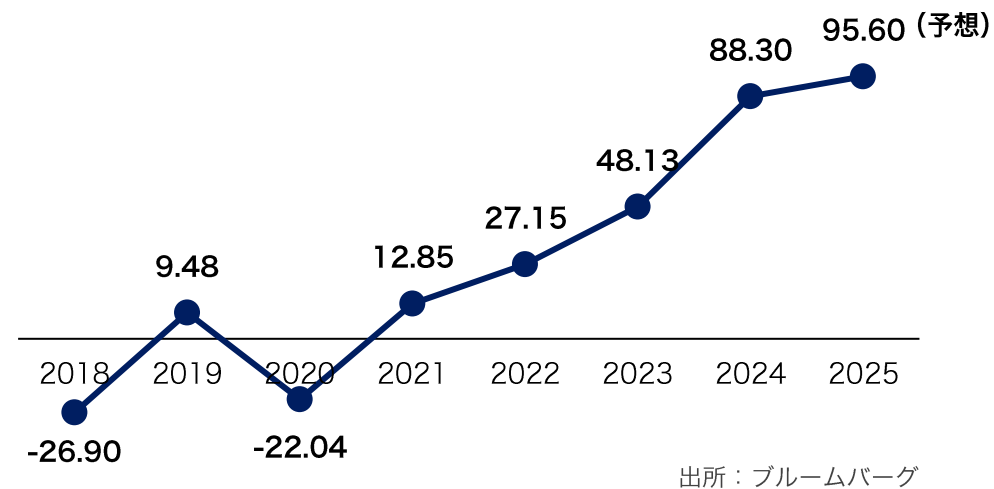
株価及び指標の推移

■ 株価推移 2017年末 – 2025年8月12日

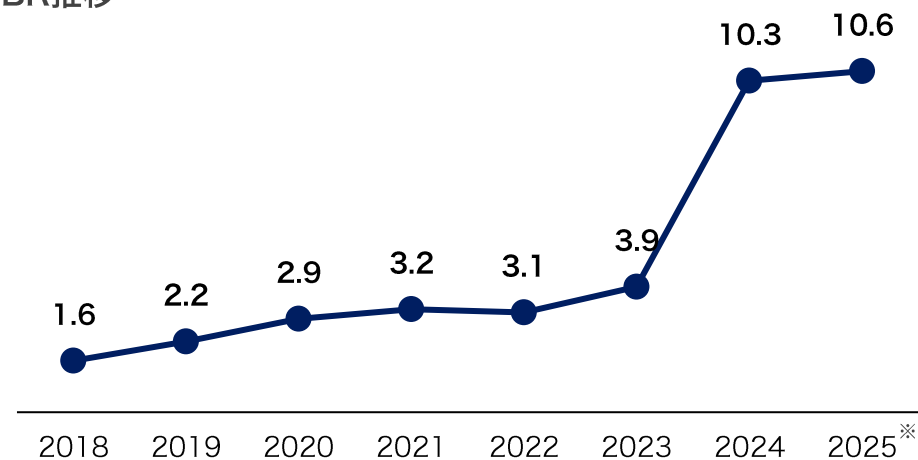


3,530円 (8/12)

■ EPS推移



■ PBR推移



パフォーマンスランニング (P.RUN) ラインナップ

- ビギナーランナーからシリアスランナーまでフルラインナップで商品を展開
- METASPEEDシリーズの新モデルに加え、MEGABLAST、SONICBLAST（発売日:グローバル 9/1, 日本 9/4）も投入しラインナップを拡充

STABILITY



GEL-KAYANO 32

¥22,000 / \$165 / €200



GT-2000 14

¥16,500 / \$140 / €160



GT-1000 14

¥13,200 / \$110 / €130

CUSHION



GEL-NIMBUS 27

¥20,900 / \$165 / €200



GEL-CUMULUS 27

¥15,950 / \$140 / €160



GEL-PULSE 16

¥13,200 / \$100 / €110

BOUNCE



MEGABLAST

¥27,500 / \$225 / €240



SUPERBLAST 2

¥24,200 / \$200 / €220



SONICBLAST

¥22,000 / \$180 / €190



NOVABLAST 5

¥16,500 / \$150 / €150

SPEED



METASPEED RAY

¥33,000 / \$300 / €300



METASPEED TOKYO

¥29,700 / \$270 / €270



S4+ YOGIRI

¥22,000 / \$200 / €210



MAGIC SPEED 4

¥18,700 / \$170 / €180

TRAIL



METAFUJI TRAIL

¥29,700 / \$250 / €250



Trabuco Max 4

¥19,800 / \$160 / €180



GEL-Trabuco 13

¥17,600 / \$140 / €160

スポーツスタイル (SPS) プロダクトポートフォリオ

- 複数の商品群を持つことで、トレンドサイクルの早いスニーカー市場における柔軟な機会創出とリスクに対応
- プレミアムな方向にシフトし、コラボレーションなどによる差別化やアパレルコレクションを活用したスタイリング提案を実施
- 在庫コントロールにも注力し、高い利益率を実現

VISIBLE TECH

テクノロジーとスタイルの融合



GEL-QUANTUM KINETIC
¥30,000 / \$250 / €260



GEL-QUANTUM 360 I AMP
¥22,000 / \$190 / €195

MODERN

アーカイブの再構築



GEL-NYC 2055
¥16,000 / \$130 / €150



GEL-NUNOBIKI
¥14,000 / \$100 / €110

VINTAGE TECH

2000年代アーカイブ



GEL-KAYANO 12.1
¥20,000 / \$170 / €180



GEL-CUMULUS 16
¥18,000 / \$140 / €150

CLASSICS

90年代アーカイブ



GEL-LYTE III
¥15,000 / \$120 / €-



SKYHAND OG
¥13,000 / \$100 / €110

SKATEBOARDING

スケートボードに合わせたテクノロジーとスタイル



GEL-FLEXKEEPRO 2.0
¥18,000 / \$135 / €160



JAPAN PRO
¥13,000 / \$105 / €110

コラボレーション製品



ASICS x ABOVE THE CLOUDS
GEL-QUANTUM 360 1
¥27,000 / \$210 / €-



ASICS x Story mfg.
GEL-VENTURE 6
¥17,000 / \$133 / €140



ASICS x JJJJOUND
GEL-KAYANO 14
¥23,000 / \$180 / €190



ASICS x Shigeyuki Kunii
GEL-LYTE III GTX OG
¥24,000 / \$- / €-

※製品の時代背景、リテール店頭表現・ECでのお客様への案内を踏まえSILO名を再構成



DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。